

平成 28 年度

鹿児島大学大学院理工学研究科

博士前期課程

Master's Program

学 生 募 集 要 項

(第1次募集・第2次募集)

【 一 般 選 抜 】

(学部3年次生を対象とする選抜を含む)

【 社 会 人 特 別 選 抜 】

【外国人留学生特別選抜】

International Student Admission

鹿児島大学大学院理工学研究科

Graduate School of Science and Engineering,

Kagoshima University

【入 試 日 程】

○第1次募集 first application

事前資格審査（該当者のみ） Document screening (Where relevant)	平成27年 6月10日(水)～6月12日(金) From June 10, 2015 to June 12, 2015
出 願 期 間 Application period	口 述 試 験 : 平成27年 6月 1日(月)～6月 3日(水) Oral examination From June 1, 2015 to June 3, 2015 上 記 以 外 の 試 験 : 平成27年 7月21日(火)～7月23日(木) Other examinations From July 21, 2015 to July 23, 2015
試 験 日 Date of examination	口 述 試 験 : 平成27年 7月 1日(水) Oral examination July 1, 2015 上 記 以 外 の 試 験 : 平成27年 8月18日(火)～8月19日(水) Other examinations From August 18, 2015 to August 19, 2015
口 述 試 験 合 格 発 表 Notification of oral examination results	平成27年 7月17日(金) 午後3時 Friday, July 17, 2015 3:00 pm
合 格 発 表 (口 述 試 験 以 外) Notification of results (Other than oral examination)	平成27年 9月 4日(金) 午後3時 Friday, September 4, 2015 3:00 pm
入 学 手 続 Enrollment procedure	平成28年 3月14日(月)～3月15日(火) From March 14, 2016 to March 15, 2016

○第2次募集 second applicaion

事前資格審査（該当者のみ） Document screening (Where relevant)	平成27年11月26日(木)～11月27日(金) From November 26, 2015 to November 27, 2015
出 願 期 間 Application period	平成28年 1月 5日(火)～ 1月 7日(木) From January 5, 2016 to January 7, 2016
試 験 日 Date of examination	平成28年 2月 9日(火)～ 2月10日(水) From February 9, 2016 to February 10, 2016
合 格 発 表 Notification of results	平成28年 3月 7日(月) 午後3時 Monday March 7, 2016 3:00 pm
入 学 手 続 Enrollment procedure	平成28年 3月14日(月)～3月15日(火) From March 14, 2016 to March 15, 2016

- * 1. 一般選抜の第2次募集は、原則として第1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。
- * 2. 学部3年次生を対象とする選抜の第2次募集は行いません。

問い合わせ先・出願書類等提出先 Please address your inquiries to:

〒890-0065

鹿児島市都元1丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話(099)285-3057 FAX(099)-285-3410

E-mail:daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

理工学研究科博士前期課程における入学受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

理工学研究科の理念は、「真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人格を育成し、時代の要請に対応できる教育研究の体系と枠組みを創成することによって、地域ならびに国際社会の進展に寄与する」です。この理念を受けて、「理工学に関する基礎から応用に至る学術の真理と理論を教授研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材の育成」を目的とし、そのため、「今日の諸課題に対応できる倫理的判断力及び人間生活を取り巻く自然についての総合的な知識をもち、自然科学に関する学問の高度化と多様化に幅広く柔軟に対応できる、次世代を担う技術者、研究者、さらには高度専門職業人を養成する」ことを目標としています。

(2) 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

- ア) 理工学研究科の理念に共感し、それを実現できる基礎学力と意欲を持ち、科学的で合理的な思考ができ、コミュニケーション能力のある人
- イ) 理工学分野の諸課題に強い関心を持ち、強い探求心を持ってさまざまな課題にチャレンジする努力を惜しまない人
- ウ) 理工学分野のさまざまな現象を解析するため、科学的かつ多面的な観察計画を立案し、それを論理的に解析する能力の研鑽を目指す人
- エ) 理工学研究科で獲得する専門知識を基礎に、多様な価値観や文化を大切にしつつ、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

理学又は工学において、志望する専攻の専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、志望する専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目（理学又は工学において、志望する専攻の専門分野から出題）、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、志望する専攻の専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

機械工学専攻における入学受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

機械工学専攻で取り扱う教育研究の範囲は、材料の物性と強度、構造物設計、機器の設計と制御、生産加工、熱・流体が関与する諸現象、エネルギー利用技術、各種工学現象の解明や機械設計への計算機利用技術並びに各種システム構成技術などである。本専攻では、学部教育課程での機械工学基礎教育を踏まえ、機械技術の高度化と先端化を追求するために必要な知識を積極的に取り入れて応用することのできるエンジニアの育成を目指している。

(2) 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

機械工学専攻の基本理念と求める学生像を踏まえ、本専攻は次のような人を求める。

- ア) 総合的かつ長期的視野と高い倫理観を持って、機械工学の立場から、人類社会への貢献を志す人
- イ) 種々の機械工学的課題の本質を解明することができる基礎学力と探究意欲を持ち、その原理に基づいて課題を解決する展開力を継続的に研鑽する人
- ウ) 種々の機械工学的課題に対して、課題解決の計画を立案し、個人・チーム力の総力を発揮して、課題に臨む計画能力およびコミュニケーション能力のある人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

機械工学専攻に関する基礎的な知識と技術及び外国語（英語）の高い知識・能力

③ 入学選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、機械工学専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価する。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、機械工学専攻に関する専門知識、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、機械工学専攻に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価する。

電気電子工学専攻における入学受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

電気電子工学専攻では、高度情報化社会を先導する産業活動の中で、世界をリードする技術を追求できる専門的な能力と倫理的判断力を持った創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成を目指しています。

(2) 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

以下のア) ～ ウ)に示す電気電子工学専攻の教育目的を理解し、本専攻における教育研究を通して高度の専門能力を修得しようとする十分な基礎学力を有する人

- ア) 多様かつ動的に変化する社会の要請に対し、幅広い視野から高度の専門能力を駆使して柔軟かつ迅

速に対応できる人材を育成すること

イ) 電気電子工学関連の新しい技術を自ら創出して課題を解決する創造的能力を持つ人材を育成すること

ウ) 高度情報化社会をリードする意欲に富み、かつ地域や国際社会への貢献に対する使命感を持つ人材を育成すること

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

電気電子工学専攻の専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、電気電子工学専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価する。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目（応用数学、電気磁気学、電気回路学）、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、本専攻の専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

建築学専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

建築学専攻では、人類の建築文化と技術を継承し、地球環境の保全に配慮しながら、現代の科学技術と過去の経験を総合的に活用して、建築空間と生活環境の創造・維持を担う専門的職業人・研究者の養成を教育の理念としています。問題発掘能力とその解決能力、実験・解析の実行能力を身に付けることが可能な基礎学力を有し、それを専門領域や学際問題に活用でき、異分野の専門と協調して広く活躍できる、建築学分野で自立できる素養を持つ科学技術者・研究者の教育を目指しています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

ア) 真に価値ある人間性を呼び覚ますような環境を主体的に創造できる人

イ) 人との対話や協調性、物事に対する行動力や主体性を備えた人

ウ) アイディアを形成する構想力、問題発見能力とその解決能力を持つ人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

建築の専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、建築の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、建築の専門科目、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

化学生命・化学工学専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

化学生命・化学工学専攻の教育理念は、「人間社会と自然環境と科学技術の調和を希求しつつ、国際的な視野から新しい科学技術・産業構造を提案し、世界に発信できる高度専門職業人を育成すること」です。この理念を受けて、「化学工学，応用化学，生命工学の専門家として，幅広い視野をもち，グローバル社会で活躍できる人材の育成」を目的として，そのため，「柔軟な思考力と探求心を備えた化学工学，応用化学，生命工学に係わる分野の中で，世界をリードする技術を追求できる専門的な能力と倫理的判断力を持った創造的で指導的な役割を担う専門的職業人を育成すること」を目標としています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

- ア) 化学生命・化学工学専攻の教育目的を理解し，本専攻における教育研究を通して高度の専門能力を修得しようとする十分な基礎学力を有する人
- イ) 柔軟な思考力，探求心を持って柔軟かつ創造的に解決する能力を身につけたい人
- ウ) 化学生命・化学工学の知識を生かしてグローバルな視点で活躍したい人
- エ) 新しい科学技術に対応できる高度な知識と倫理的判断力を養いたい人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

化学生命・化学工学専攻における教育研究を通して高度の専門能力を修得できる十分な基礎学力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では，口頭試問を含む面接を課すとともに，出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ，教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる，本専攻の専門分野に関する知識・能力，適性・意欲等を評価します。

また，筆答試験では，教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる，専門科目（応用化学・生命工学コースあるいは化学工学コースの専門分野から出題），外国語科目（英語）及び面接を課すとともに，出身学校の成績も踏まえ，本専攻の専門分野に関する知識・能力，外国語（英語）の読解能力，適性・意欲等を評価します。

海洋土木工学専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

海洋土木工学専攻では，海洋学と土木工学に関わる高度な専門教育ならびに研究活動を通じて，海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学の知識と判断力，ならびに高い倫理観を有する専門的職業人の育成を目指しています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

- ア) 本専攻の教育目標を理解し、海洋土木工学への興味と学習意欲が旺盛であり、海洋土木工学を学ぶうえで必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有する人
- イ) 地球的視点から多面的に物事を考えることができ、国土・海洋の開発と自然環境との持続的調和に高い関心を有する人
- ウ) 本専攻で獲得した専門知識を基礎に、高い倫理観を持って地域ならびに国際社会に貢献することを志す人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

海洋土木工学に関する専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる海洋土木工学に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、本専攻の専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

情報生体システム工学専攻における入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 教育目標

情報生体システム工学に関する基礎から応用にわたる学術の真理と理論を教育研究し、その深奥を極めて文化の進展に寄与する人材を育成する目的を達成するため、情報システムの十分な知識と応用力を持ち、同時にヒトの認知や生体システムも理解し、情報生体システム工学の複合分野で創造力を持って問題に対応できる専門的知識と倫理的判断力を持った高度専門職業人を養成することを目標としています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

- ア) 情報生体システム工学専攻の教育目標を理解し、それを実現できる基礎学力とコミュニケーション能力を有する人
- イ) 情報生体システム工学の諸課題に強い関心を持ち、課題にチャレンジする意欲を有する人
- ウ) 情報生体システム工学分野の専門知識を基礎に、高い倫理観を持って地域並びに国際社会に貢献することを志す人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

情報生体システム工学に関する専門的知識・技術及び外国語（英語）の高い知識・能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、情報生体システム工学専攻の専門分野に関する知識・能力、適性・意欲等を評価します。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目、外国語科目（英語）及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、情報生体システム工学専攻の専門分野に関する知識・能力、外国語（英語）の読解能力、適性・意欲等を評価します。

数理情報科学専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

数理情報科学専攻では、数学、数学を基盤とした情報科学や統計科学について講義・セミナーを通じて学びます。数学や情報科学や統計科学を深く学ぶことにより、創造的かつ柔軟な思考力をもつ技術者、研究者、教育者など高度専門職業人の育成を目標にしています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

ア) 数学や数学に関連した情報科学、統計科学に関心をもつ人

イ) 強い学習意欲、課題探求力をもつ人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

微分積分学、線形代数学、統計学の基礎学力に加えて、高い論理的思考力と表現力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課し、数学の基礎知識と基礎的運用能力、適性、意欲、コミュニケーション能力を評価するとともに、出身学校の成績も評価します。

筆答試験の数学では、微分積分学、線形代数学の基礎知識と基本的運用能力、論理的思考力、表現力を、外国語では、数理情報科学の文献を読むために必要な英語力を評価します。なお、出身学校の成績も評価します。

物理・宇宙専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

物理・宇宙専攻では、世界に通用する物質科学や宇宙科学に関連した研究を行っており、これにより培った問題解決能力を活かして、専門的知識を持った創造的で指導的な役割を担う社会人の育成を目指しています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

ア) 本専攻の教育目的（ディプロマポリシー）を理解し、必要な教育を受けると共に研究活動を通じて

高度の専門能力を修得しようとする十分な意欲とそれに必要な基礎学力を有する人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

物理学または天文学に関する専門的知識及びそれに関して海外の研究者との確かな情報交換ができるだけの外国語（主として英語）能力を修得していることを求めます。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

上述の基本理念に謳った能力を修了時まで身につけ得るか、入学前に身につけておいて欲しいことがどこまで達成できているかを判断するために、出身大学等での成績及び志望理由書等も踏まえ、専門分野に関する知識や能力、適性や意欲等を総合的に評価し可否を判定します。

また、提出書類に基づく書面審査に加え、口述試験では口頭試問を含む面接を、筆答試験では専門科目と外国語科目（主として英語）及び面接試験を課します。

生命化学専攻における入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

生命化学専攻の教育理念は、「化学から生物学までの幅広い基礎知識と技術応用力を併せ持ち、両分野を含めた幅広い分野で活躍することのできる人材を育成することで、地域ならびに国際社会での科学、技術の発展に貢献する」ことです。この理念を達成するため、教育理念を理解し、教育・研究を通して、高度の専門能力を備えた人材を輩出することを目標としています。

(2) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 求める人材像

ア) 生命化学専攻の教育理念を理解し、それを実現できる学力と意欲を持っている人

イ) 合理的で柔軟な科学的思考力を有しており、研究の内容や計画についてわかりやすく発表・説明できる人

ウ) 生命化学に関わる研究分野に興味を持ち、その発展に対する貢献に熱意がある人

エ) 生命化学の研究を通して、高い倫理観を持って、科学あるいは社会の発展に寄与したいと思う人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

化学並びに生物に関する基礎的な知識と実験技術を有するだけでなく、研究に必要な知識や情報を世界中から収集するため、基礎的な外国語（英語）の語学力並びにコミュニケーション能力が必要となります。

③ 入学者選抜の基本方針（一般選抜）

口述試験では、口頭試問を含む面接を課すとともに、出身学校の成績及び志望理由書等も踏まえ、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、生命化学分野に関する知識・能力、適性・意欲を評価します。

また、筆答試験では、教育目標に掲げる人材を育成する上で必要となる、専門科目、外国語科目（英語）に関する試験を課すとともに、面接評価、並びに出身学校の成績も踏まえ、生命化学分野に関する知識・能力、適性・意欲を評価します。

地球環境科学専攻における入学受入の方針(アドミッション・ポリシー)

(1) 教育目標

人間が生存する場である地球について、地圏、水圏及び生物圏を総合する観点から、世界をリードする専門的な知識と倫理的判断力を持った創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成を目指しています。

(2) 入学受入方針 (アドミッション・ポリシー)

① 求める人材像

地球環境科学専攻の教育目的を理解し、教育研究を通して高度の専門知識を修得しようとする意志とその為に必要となる十分な基礎学力を有する人

② 入学前に身につけておいて欲しいこと

地球環境科学専攻では主として、地学、生物、化学分野をベースとした研究・教育を行うため、これらのいずれかの分野の専門的知識や、実際に実験観察を行うための技術も必要となります。また、学術論文を理解するための英語能力も必要です。

③ 入学者選抜の基本方針 (一般選抜)

筆答試験では専門科目、外国語科目(英語)及び面接を課すとともに、出身学校の成績も踏まえ、本専攻の専門分野に関する知識・能力、外国語(英語)の読解能力、適性・意欲等を評価します。

目 次

I. 一般選抜	1
II. 社会人特別選抜	14
III. 一般選抜および社会人特別選抜の応募における留意事項	18
IV. 外国人留学生特別選抜	24
V. 大学院理工学研究科博士前期課程の概要（平成27年度）	46
VI. 平成27年度入学者選抜に関する入試状況	58

本研究科所定の用紙（本募集要項に綴じ込み）

1. 一般選抜，社会人特別選抜共通

別紙様式 1	入学志願票・受験票・写真票・履歴書
別紙様式 2	入学試験出願資格認定審査調書

2. 一般選抜用

別紙様式 3	志望理由書（口述試験）研究計画書（生命化学専攻・口述試験）
別紙様式 4	事前審査申請書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）
別紙様式 5	推薦書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）

3. 社会人特別選抜用

別紙様式 6	受験承諾書
別紙様式 7	研究（希望）計画書
別紙様式 8-1	業績（業務）報告書No. 1
別紙様式 8-2	業績（業務）報告書No. 2

4. 外国人留学生特別選抜用（FOR INTERNATIONAL STUDENT）

別紙様式 9-1	入学志願票・受験票・写真票
（Form 9-1	Identification for Examination and Photograph Sheet.）
別紙様式 9-2	履歴書（学歴）
（Form 9-2	Educational Background）
別紙様式 9-3	履歴書（職歴）
（Form 9-3	Employment Record）
別紙様式10-1	入学試験出願資格認定審査調書 個人票
（Form 10-1	Summary of academic and professional activities for international students Personal Details）
別紙様式10-2	入学試験出願資格認定審査調書 学歴
（Form 10-2	Summary of academic and professional activities for international students Educational Background）
別紙様式10-3	入学試験出願資格認定審査調書 職歴
（Form 10-3	Summary of academic and professional activities for international students Professional Career）
別紙様式10-4	入学試験出願資格認定審査調書（過去の職歴内容及び社会における活動）
（Form 10-4	Summary of academic and professional activities for international students Past Professional Experience and Social Activities, if any）

問い合わせ先・出願書類等提出先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話（099）285-3057 FAX（099）285-3410

E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

I. 一般選抜（学部3年次生を対象とする選抜を含む）

一般選抜（学部3年次生を対象とする選抜を含む）は、口述試験または筆答試験により実施します。詳細は9ページの「6. 入学者の選抜方法」を参照してください。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成28年（2016年）3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年（2016年）3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者（注1）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（注1）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）（注1）
- (8) 平成28年（2016年）3月末において大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績を持って修得した者であると本研究科において認めた者（注2）
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達したもの（平成28年（2016年）4月1日時点で22才に達する者を含む）（注3）

（注1）出願資格（3）～（7）で出願する場合は、事前にお問い合わせください。

（18ページ、「1. 募集要項に関する問い合わせ先および出願書類等提出先」を参照）

（注2）出願資格（8）は学部3年次生を対象とする者で、これにより出願する場合は事前審査が必要です。詳細は13ページを参照してください。

（注3）出願資格（9）は、次に該当する者とします。

科学・技術関係の分野の業務に従事し、学習歴及び実務経験を証明する書類により、本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達したもの。

（平成28年（2016年）4月1日時点で22才に達する者を含みます）

出願資格（９）により出願する者は、出願に先立って次の(a), (b), (c)の書類を本研究科に提出し、出願資格の審査を受けなければなりません。

- (a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」（別紙様式２）
- (b) 学習歴を証明する書類（卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの）
- (c) 実務経験等を証明する書類（職務・研修歴・研究歴等実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類）

2. 専攻別募集人員

専 攻		募 集 人 員		
		口述試験	筆答試験	合 計
機	械 工 学	25人	25人	50人
電	気 電 子 工 学	23人	22人	45人
建	築 学	12人	13人	25人
化学生命・化学工学	応 用 化 学 ・ 生命工学コース	12人	13人	25人
	化学工学コース	9人	8人	17人
海	洋 土 木 工 学	9人	9人	18人
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学		30人	12人	42人
数 理 情 報 科 学		7人	7人	14人
物 理 ・ 宇 宙		7人	8人	15人
生 命 化 学		9人	9人	18人
地 球 環 境 科 学			17人	17人

- * 1 口述試験の合格者がその募集人員に満たない場合、欠員は筆答試験の募集人員に含めます。
- * 2 地球環境科学専攻では口述試験を行いませんので、筆答試験に出願してください。

3. 出願書類等

志願者は、次の書類を一括して、所定の期日までに提出してください。（提出先：18ページ参照）

出 願 書 類 等		出願資格別	注 意 事 項
1	入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 履 歴 票 書	全志願者	本研究科所定の用紙（別紙様式1）に必要事項を記入してください。出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（縦4cm×横3cm）を所定欄に貼付してください。
2	卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書	出願資格（9）を除く	最終出身学校等が発行したもの。 （出願資格（8）による事前審査出願者は不要）
		出願資格（9）該当者	最終出身学校等が発行した卒業（見込または修了）証明書。 【資格審査時に提出】
3	学位授与を申請する旨の証明書	出願資格（2）該当者	短期大学学長または高等専門学校長等が証明したもの（取得した者は学位記の（写））
4	成 績 証 明 書	出願資格（9）を除く	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。
		出願資格（9）該当者	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。 【資格審査時に提出】
5	TOEIC スコア又は TOEFL スコア （平成25年4月1日以降受験したもの）	原則として全志願者（地球環境科学専攻志願者は必要ありません）	受験する試験（口述試験、筆答試験）及び受験する専攻毎にスコア提出の有無ならびに種類が違いますので、必ず「一般選抜（口述試験、筆答試験）のTOEIC・TOEFLスコアの書類提出と採用方法について」（4～8ページ参照）を確認したうえで、提出してください。
6	志 望 理 由 書 研 究 計 画 書 （生命化学専攻）	口述試験志願者（数理情報科学専攻志願者は必要ありません）	本研究科所定の用紙（別紙様式3）に、志望動機、大学院で学びたいこと、及び自己アピールを1000字以内にまとめたもの。ただし、生命化学専攻の志願者は、大学院での研究テーマまたは分野について、研究計画を1000字以内にまとめたもの。
7	住 民 票（写）又は パ ス ポ ー ト（写）	出願者のうち、日本国籍をもたないもの	市区町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し（日本国内在住の外国人の場合のみ）またはパスポートの写し（「受験」のために入国する場合）を提出してください。
8	検 定 料	全志願者	30,000円を検定料払込書（巻末）により、郵便局から払込み後、出願書類に【振替払込受付証明書（お客さま用）】を添えて提出すること。ただし、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。
9	返 信 用 封 筒	全志願者	〔受験票等送付用〕（1枚）（出願書類を持参するものは不要） 市販の封筒（長形3号，12cm×23.5cm）に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し362円切手を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。
			〔合格通知用・入学手続書類送付用〕（2枚） 市販の封筒（角形2号，24cm×33.2cm）に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入したもの。封筒には切手不要。

4. 一般選抜(口述試験)の TOEIC 及び TOEFL スコアの書類提出と採用方法について

機械工学専攻

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の8時40分～9時00分の間に, スコア(原本)を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア(原本)を提出することもできます。
- スコア(原本)は, 選抜の際の基礎資料とします。

電気電子工学専攻

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の8時50分～9時30分の間に, スコア(原本)を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア(原本)を提出することもできます。
- 試験当日に, 複数のスコア(原本)が提出された場合は, 最も優れた評価点を利用します。

建築学専攻

- TOEIC, TOEFL は, 利用しません。

化学生命・化学工学専攻 応用化学・生命工学コース

- TOEIC, TOEFL は, 利用しません。

化学生命・化学工学専攻 化学工学コース

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の8時40分～9時00分の間に, スコア(原本)を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア(原本)を提出することもできます。
- 試験当日に, 複数のスコア(原本)が提出された場合は, 最も優れた評価点を利用します。

海洋土木工学専攻

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP (本学工学部内で受験した本学の海洋土木工学科の学生に限り可), TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の8時40分～8時50分の間に, スコア(原本)を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア(原本)を提出することもできます。
- 試験当日に, 複数のスコア(原本)が提出された場合は, 最も優れた評価点を利用します。

情報生体システム工学専攻

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP (本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可), TOEFL-iBT, TOEFL-ITP (本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可) のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の面接時に, スコア (原本) を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア (原本) を提出することもできます。
- 試験当日に, 複数のスコア (原本) が提出された場合は, 最も優れた評価点を利用します。

数理情報科学専攻

- TOEIC, TOEFL は, 利用しません。

物理・宇宙専攻

- TOEIC, TOEFL は, 利用しません。

生命化学専攻

- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP (本学理学部内で受験した者に限り可), TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は, 複数のスコアを提出できます。
- 試験当日の面接時に, スコア (原本) を提出してください。また, 出願時とは異なる新たなスコア (原本) を提出することもできます。
- 試験当日に, 複数のスコア (原本) が提出された場合は, 最も優れた評価点を利用します。

5. 一般選抜（筆答試験）の TOEIC 及び TOEFL スコアの書類提出と採用方法について

機械工学専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の15時10分～15時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

電気電子工学専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

建築学専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の建築学科の学生に限り可）, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

化学生命・化学工学専攻応用化学・生命工学コース

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

化学生命・化学工学専攻化学工学コース

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

海洋土木工学専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の海洋土木工学科の学生に限り可）, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の16時20分～16時40分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

情報生体システム工学専攻

- 試験初日の英語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可）, TOEFL-iBT, TOEFL-ITP（本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可）のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験初日の14時40分～15時00分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験初日の英語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験初日の英語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

数理情報科学専攻

- 試験初日の英語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験初日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験初日の英語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験初日の英語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

物理・宇宙専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の15時10分～15時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

生命化学専攻

- 試験初日の英語試験はありません。
- 出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP（本学理学部内で受験した者に限り可）, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 試験初日の15時10分～15時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験初日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。

地球環境科学専攻

- 試験初日に、英語試験を課します。
- TOEIC, TOEFL は利用しません。

6. 入学者の選抜方法

選考は、「口述試験」または「筆答試験」により行います。

(1) 「口述試験」

- (a) 1 ページの「1. 出願資格」の(1)～(7)により出願する者を対象とします。
- (b) 口頭試問を含む面接及び出願書類等により、十分な学力を有すると判断できる者を合格者とします。
- (c) 合格者は、筆答試験を免除します。

なお、不合格となった者は別途出願手続きをとらずに「筆答試験」を受験することができます。

(2) 「筆答試験」

学力試験、面接試験及び出願書類等により合格者を決定します。

7. 試験科目・日時及び試験場

(1) 口述試験

(a) 口頭試問を含む面接試験の日時及び試験場

専 攻	日 時	試 験 場
機 械 工 学	平成27年 7月1日(水) 9時～	鹿児島大学工学部
電 気 電 子 工 学		
建 築 学		
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学		
海 洋 土 木 工 学		
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学		
数 理 情 報 科 学		鹿児島大学理学部
物 理 ・ 宇 宙 生 命 化 学		

- * 1. 機械工学専攻、電気電子工学専攻、化学生命・化学工学専攻化学工学コース、海洋土木工学専攻、情報生体システム工学専攻及び生命化学専攻においては、TOEIC スコア又は TOEFL スコアの原本を試験当日に提出する必要があります。詳細については、4～5 ページに記載してあるので、必ず確認してください。
- * 2. 検査開始後30分を超えて遅刻したときは、受験を認めません。
- * 3. 口頭試問を含め、1 人15分程度の個人面接を行います。
- * 4. 面接では、志望専攻の専門分野に関わる基礎問題と志望理由書等について質問します。
- * 5. 日時、試験場等の詳細は、平成27年6月30日(火)13時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

(b) 検査科目の配点

専 攻	口頭試問を含む面接	成績証明書	志望理由書等	TOEIC又はTOEFL	総 点
機 械 工 学	100	200		[注1]	300
電 気 電 子 工 学	75	200	100	25	400
建 築 学	200	200	100		500
化学生命・化学工学	応用化学・生命工学コース	200			400
	化学工学コース	200	100	50	500
海 洋 土 木 工 学	50	200	50	50	350
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	200	200		100	500
数 理 情 報 科 学	100	100	[注2]		200
物 理 ・ 宇 宙	100	300			400
生 命 化 学	100	80	*100	20	300

[注1] 機械工学専攻の「TOEIC又はTOEFL」については、選抜の際の基礎資料とします。

[注2] 数理情報科学専攻の「志望理由書等」については、提出の必要がありません。

*生命化学専攻の「志望理由書等」配点100については、研究計画書の配点とします。

(c) 合否判定基準

- ・各評価項目において、十分な学力を有すると判断できる者を総合得点により順位付けし、合格者を決定します。
- ・総合得点が同点の場合は、次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

専 攻		同 点 者 の 優 先 順 位
機 械 工 学		1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接
電 気 電 子 工 学		1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.志望理由書 4.TOEIC 又は TOEFL
建 築 学		1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.志望理由書
化学生命・化学工学	応用化学・生命工学コース	1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接
	化学工学コース	1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL 4.志望理由書
海 洋 土 木 工 学		1.成績証明書 2.TOEIC 又は TOEFL 3.口頭試問を含む面接 4.志望理由書
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学		1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書 3.TOEIC 又は TOEFL
数 理 情 報 科 学		1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書
物 理 ・ 宇 宙		1.口頭試問を含む面接 2.成績証明書
生 命 化 学		1.成績証明書 2.口頭試問を含む面接 3.TOEIC 又は TOEFL 4.研究計画書

(2) 筆答試験

(a) 筆答試験の期日及び試験場

専 攻		期 日		試 験 場
		第 1 次募集	第 2 次募集	
機 械 工 学		平成 27 年 8 月 18 日 (火)	平成 28 年 2 月 9 日 (火)	鹿児島大学工学部
電 気 電 子 工 学				
建 築 学				
化学生命・化学工学	応用化学・生命工学コース			
	化学工学コース			
海 洋 土 木 工 学				
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学				
数 理 情 報 科 学				鹿児島大学理学部
物 理 ・ 宇 宙				
生 命 化 学				
地 球 環 境 科 学				

- * 1. 第 2 次募集は、原則として第 1 次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。第 2 次募集の実施については、11 月以降鹿児島大学理工学研究科ホームページ (<http://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) で公表します。
- * 2. 学部 3 年次生を対象とする選抜の第 2 次募集は行いません。

(b) 学力試験の試験時間と試験科目

専攻		試験時間及び試験科目				
機 械 工 学		時間	10時40分～12時10分	13時00分～15時00分		15時10分～15時30分
		専門科目	応用数学	材料力学, 機械力学, 工業熱力学, 流体力学, 機械材料学, 制御工学 上記6科目の中から2科目を選択(出願時に選択)		TOEIC公開, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P6に記載してあるので, 必ず確認すること
電 気 電 子 工 学		時間	10時40分～12時10分	13時00分～14時20分	14時40分～16時00分	16時10分～16時30分
		専門科目	応用数学	電気磁気学	電気回路学	TOEIC公開, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P6に記載してあるので, 必ず確認すること
建 築 学		時間	13時00分～16時00分			16時10分～16時30分
		専門科目	計画系3科目(建築計画, 都市計画, 建築史), 環境系2科目(環境工学, 建築設備), 構造系4科目(構造力学, 建築材料, 鉄筋コンクリート構造, 鉄骨構造)の合計9科目の中から3科目を選択(出願時に選択)ただし, 複数の系から選択し, 1つの系からは2科目までとすること			TOEIC公開, TOEIC-IP, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P6に記載してあるので, 必ず確認すること
化学生命・化学工学		時間	13時00分～16時00分			16時10分～16時30分
		専門科目	応用化学・生命工学コース: 物理化学, 分析化学, 有機化学, 生物化学, 高分子化学 上記5科目の中から3科目を選択(出願時に選択) 化学工学コース: 移動現象論, 化工熱力学, 単位操作, 反応工学, 無機化学及び無機材料化学 上記2コースのうちいずれかを選択(出願時に選択)			TOEIC公開, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P6～7に記載してあるので, 必ず確認すること
海 洋 土 木 工 学		時間	10時40分～11時40分	13時00分～16時10分		16時20分～16時40分
		専門科目	応用数学	海洋物理学, 水理学, 構造力学, 土木材料・コンクリート構造工学, 土質力学 上記5科目の中から問題を見て3科目を選択		TOEIC公開, TOEIC-IP, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P7に記載してあるので, 必ず確認すること
情報生体システム工学	時間	8時50分～10時20分	10時40分～12時10分	13時00分～14時30分		14時40分～15時00分
	外国語	英語 (試験時に辞書貸出, 持込は不可)	専門科目	応用数学(線形代数, 微分積分, 微分方程式)	情報基礎(情報理論, 論理回路), プログラミング基礎(C言語), 電気回路基礎の3科目の中から問題を見て1科目選択	提出する人は, TOEIC公開, TOEIC-IP, TOEFL-iBT, TOEFL-ITPの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P7に記載してあるので, 必ず確認すること
数理情報学	時間	10時00分～11時30分	13時00分～16時00分			16時10分～16時30分
	外国語	英語 (英和辞書持込可。ただし, 電子辞書は不可)	専門科目	数 学 (出題数は4問で, 全問解答する。)		提出する人は, TOEIC公開, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P7に記載してあるので, 必ず確認すること
物理・宇宙		時間	13時00分～15時00分			15時10分～15時30分
		専門科目	基本的な物理科目(物理数学, 力学, 電磁気学, 熱力学および量子力学の範囲)から出題し, 全問解答する。			TOEIC公開, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P8に記載してあるので, 必ず確認すること
生命化学		時間	13時00分～15時00分			15時10分～15時30分
		専門科目	化学系・生物系の下記の問題7問から2問を選択(出願時に選択) 量子化学, 物理化学, 有機化学, 生物化学, 分子生物学・植物生理学, 細胞生物学・発生生物学, 動物生理学 詳細については, 以下のホームページを参照すること。 http://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/examinee_dir/daigakuin.html			TOEIC公開, TOEIC-IP, TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については, P8に記載してあるので, 必ず確認すること
地球環境学	時間	10時00分～11時30分	13時00分～15時00分			
	外国語	英語 (英和・英英辞書持込可。ただし, 電子辞書は不可。)	専門科目	地球環境科学 (生物・化学・地学系6問から2問を選択する形式で出題する。2次募集を行う場合は3分野の総合的問題を全問解答する形式で出題する。)		

☆検査開始後30分を超えて遅刻したときは, その科目等の受験を認めません。

☆関数電卓の使用について

使用することができる専攻は以下の通りです。

建築学専攻, 海洋土木工学専攻 (各自, 持参してください。)

化学生命・化学工学専攻(化学工学コース)は持ち込みはできませんが検査時に貸与します。

(c) 学力検査科目の配点

専 攻	専門科目	外 国 語	総 点
機 械 工 学	300	100	400
電 気 電 子 工 学	300	100	400
建 築 学	450	100	550
化学生命・化学工学	300	100	400
海 洋 土 木 工 学	400	100	500
情報生体システム工学	300	100	400
数 理 情 報 科 学	400	100	500
物 理 ・ 宇 宙	400	100	500
生 命 化 学	200	100	300
地 球 環 境 科 学	100	100	200

(d) 面接試験

志望動機，志望研究分野，大学院で学びたいこと等について1人10分程度の個人面接を行います。

(e) 面接試験の日時及び試験場

専 攻	期 日		試 験 場
	第1次募集	第2次募集	
機 械 工 学	平成27年 8月19日(水) 9時～	平成28年 2月10日(水) 9時～	鹿児島大学工学部
電 気 電 子 工 学			
建 築 学			
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学			
海 洋 土 木 工 学			
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学			
数 理 情 報 科 学			
物 理 ・ 宇 宙			鹿児島大学理学部
生 命 化 学			
地 球 環 境 科 学			

*1. 検査開始後30分を超えて遅刻したときは，受験を認めません。

*2. 日時，試験場等の詳細は，平成27年8月17日（月）13時（第2次募集を実施する場合，平成28年2月8日（月）13時）に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

*3. 受験者数によっては面接日ならびに開始時間を変更する場合があります。その場合は事前に指示します。

(f) 合否判定基準

学力試験総合得点により順位付けし，面接試験および出願書類により総合的に合格者を決定します。

学部3年次生を対象とする選抜の事前審査等について(第1次募集のみ)

1 ページ「1. 出願資格」の(8)により出願する者の事前審査等については、下記のとおりとします。

1. 事前審査を受けるための要件

事前審査を受けるためには、次の要件を満たしている必要があります。

- (1) 平成28年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること（なお、休学した期間は、在学期間に算入しない。）
 - (2) 2年次末までに卒業に必要な総単位数の1/2以上を修得していること。
 - (3) 2年次末までに課せられている必修科目の単位を全て修得していること。
 - (4) 2年次末までに、卒業に必要な基礎教育科目の単位を全て修得していること。
 - (5) 所属学科の定員の上位5%以内の成績であること、又は修得した単位の3/4以上が「優」以上（点数評価においては80点以上）であること。ただし、その適用基準は当該専攻に問い合わせること。
 - (6) 3年次末まで上記(5)の成績を維持できる見込みがあること。かつ、3年次末までに出身学科が定める卒業要件単位（4年次に課せられる必修科目は除く。）を修得する見込みがあること。
- ※ 他大学または他学部出身者に関しても(2)～(6)に準じる評価を行います。
- ※ 平成28年3月における履修状況の再評価により、(6)の条件を満たしていない場合は入学試験に合格していても入学できません。

2. 事前審査のために必要な書類

- (1) 事前審査申請書（別紙様式4）
- (2) 在籍する大学の成績証明書
- (3) 推薦書（別紙様式5）
- (4) 在籍する学部・学科等の履修要項等（卒業までに必要な全学共通教育科目、専門科目の単位及び開講時期が記載されているもの）

3. 事前審査書類の提出期間

平成27年6月10日（水）～6月12日（金） 受付時間：午前9時～午後5時

郵送の場合も6月12日（金）午後5時必着とします。その場合書留郵便とし、「博士前期課程事前審査書類」と封筒の表に朱書きしてください。

4. 提出先 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

5. 事前審査の結果

平成27年7月15日（水）付けで本人宛通知します。

事前審査合格者の入学試験出願書類は、3ページの「3. 出願書類等」を参照してください。

6. 入学試験について

入学試験科目、日時及び場所は、10ページからの「(2) 筆答試験」を参照してください。

7. 合格者発表及び入学資格要件の審査について

入学試験の合格者は、9月4日（金）に発表します。

入学試験に合格した者に対して、平成28年3月に上記1の(6)に定める要件についての最終審査を行います。

審査の結果その要件を満たすことができないことが確定した場合入学できません。

8. 注意事項

- (1) 本出願資格により入学した場合、当人の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。従って、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部を卒業していることが要件となっているものについては、その資格がなくなります。
- (2) 本研究科博士前期課程入学後、1年以上在学し、必要な単位を修得した場合、「学位授与機構」に学士の学位授与を申請することができます。

Ⅱ．社会人特別選抜

1．趣 旨

急激な技術革新の進展と科学技術水準の向上、並びに学校教育内容の高度化にともない、研究・開発・教育等に携わる社会人研究者や学校教育者の高度化再教育は、企業や地方自治体の活性化、並びに初・中等学校教育の質の向上のために必要となっています。このような要請に応えて、積極的に社会人並びに教職員の大学院への受入れを図り、同時に豊富な経験を有する社会人の受入れによって大学院の教育・研究を活性化させることを目的としています。

また、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、講義を夜間の時間帯にも開講して社会人学生の受講に便宜を図っています。

2．出願資格

研究機関、教育機関、企業等に勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長または、職場において本人を熟知し指導的立場にある者の受験承諾を受けた者で、次の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（注1）
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（注1）
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（注1）
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（注1）
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）（注1）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達したもの（平成28年4月1日現在で22才に達するものを含む）（注2）

（注1）出願資格(3)～(7)で出願する場合は、事前にお問合わせください（問合せ先：18ページ参照）。

（注2）出願資格(8)は、次に該当する者とします。

科学・技術関係の分野の業務に従事し、学習歴及び実務経験を証明する書類により、本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達したもの。

（平成28年4月1日現在で22才に達するものを含みます）

出願資格（８）により出願を希望する者は、出願に先立って次の(a)，(b)，(c)の書類を本研究科に提出し、出願資格の審査を受けなければなりません。

(a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」(別紙様式２)

(b) 学習歴を証明する書類（卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの）

(c) 実務経験等を証明する書類（職歴・研修歴・研究歴等実務経験および国際的活動経験等を証明する書類）

3. 募集人員

専 攻	募 集 人 員
機 械 工 学	各専攻とも 若 干 人
電 気 電 子 工 学	
建 築 学	
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	
海 洋 土 木 工 学	
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	
数 理 情 報 科 学	
物 理 ・ 宇 宙	
生 命 化 学	
地 球 環 境 科 学	

4. 出願書類等

志願者は、次の書類を一括して、所定の期日までに提出してください。

出 願 書 類 等		出願資格別	注 意 事 項
1	入 学 志 願 票 受 験 票 写 真 票 履 歴 書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式1)に必要な事項を記入してください。 出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を所定欄に貼付してください。
2	卒 業 証 明 書 修 了 証 明 書	出願資格 (8)を除く	最終出身学校等が発行した卒業または修了証明書。
		出願資格 (8)該当者	最終出身学校等が発行した卒業または修了証明書。 【資格審査時に提出】
3	成 績 証 明 書	出願資格 (8)を除く	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。ただし、証明書自動発行機で発行されたものは、厳封の必要はありません。
		出願資格 (8)該当者	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。 【資格審査時に提出】ただし、証明書自動発行機で発行されたものは、厳封の必要はありません。
4	受 験 承 諾 書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式6)により、勤務先の所属長等が記入したもの。
5	研究(希望)計画書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式7)に、希望する研究テーマまたは分野について研究計画等を記入してください。
6	業績(業務)報告書	全志願者	本研究科所定の用紙(別紙様式8-1、8-2)により、勤務内容、著書、学術論文、学術講演、学術報告、特許及び実用新案等の研究活動または教育活動状況を示すものを記入してください。
7	入 学 検 定 料	全志願者	30,000円を検定料払込書(巻末)により、郵便局から払込み後、出願書類に【振替払込受付証明書(お客さま用)】を添えて提出すること。
8	返 信 用 封 筒	全志願者	〔受験票等送付用〕(1枚)(出願書類を持参する者は不要) 市販の封筒(長形3号 12cm×23.5cm)に出願者の住所・氏名・郵便番号を記入し362円切手を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。
			〔合格通知用・入学手続書類送付用〕(2枚) 市販の封筒(角形2号 24cm×33.2cm)に出願者の住所・氏名・郵便番号を記入したもの。封筒には切手不要。

5. 入学者の選抜方法

- (1) 選考は、**口述試験及び書類審査**によって行います。
- (2) 口述試験は、業績（業務）報告書及び研究（希望）計画書等について行います。
- (3) 口述試験の日時及び試験場

専攻	期 日		試 験 場
	第1次募集	第2次募集	
機 械 工 学	平成27年 8月19日（水） 13時～	平成28年 2月10日（水） 13時～	鹿児島大学工学部
電 気 電 子 工 学			
建 築 学			
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学			
海 洋 土 木 工 学			
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学			
数 理 情 報 科 学			鹿児島大学理学部
物 理 ・ 宇 宙			
生 命 化 学			
地 球 環 境 科 学			

- * 1. 検査開始後30分を超えて遅刻したときは、受験を認めません。
- * 2. 選抜試験は、第1次募集と第2次募集の2回実施します。
- * 3. 日時、試験場等の詳細は、下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。
- 第1次募集：平成27年8月17日（月）13時
- 第2次募集：平成28年2月8日（月）13時

Ⅲ. 一般選抜および社会人特別選抜の応募における留意事項

1. 募集要項に関する問い合わせ先および出願書類等提出先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話 (099)285-3057 FAX (099)285-3410

E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

2. 各専攻についての問い合わせ先

機 械 工 学	足立 吉隆	adachi@mech.kagoshima-u.ac.jp
電 気 電 子 工 学	山本 吉朗	yamamoto@eee.kagoshima-u.ac.jp
建 築 学	塩屋 晋一	shin@aae.kagoshima-u.ac.jp
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	吉田 昌弘	myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp
海 洋 土 木 工 学	安達 貴浩	t-adachi@oce.kagoshima-u.ac.jp
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	佐藤 公則	kimi@ibe.kagoshima-u.ac.jp
数 理 情 報 科 学	新森 修一	shinmori@sci.kagoshima-u.ac.jp
物 理 ・ 宇 宙	廣井 政彦	hiroii@sci.kagoshima-u.ac.jp
生 命 化 学	笠井 聖仙	kasai@sci.kagoshima-u.ac.jp
地 球 環 境 科 学	河野 元治	kawano@sci.kagoshima-u.ac.jp

※ 志願者は、願書提出前に希望する研究指導教員と連絡を取り、教育研究の内容などについて十分相談してください。

3. 出願書類等に関する留意事項

- (1) 出願書類不備の場合は受理しません。記載事項に記入漏れ、誤記のないように十分注意してください。
- (2) 受理した出願書類等および納入された検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。
- (3) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学を取り消すことがあります。
- (4) 出願後「連絡先住所」に変更があった場合には、速やかに連絡してください。

4. 願書等受付期間

- (1) 受付期間

一般選抜

口述試験：平成27年6月1日(月)～平成27年6月3日(水)

筆答試験：平成27年7月21日(火)～平成27年7月23日(木)

(第2次募集を実施する場合：平成28年1月5日(火)～平成28年1月7日(木))

社会人特別選抜

第1次募集：平成27年7月21日(火)～平成27年7月23日(木)

第2次募集：平成28年1月5日(火)～平成28年1月7日(木)

- (2) 受付時間：午前9時～午後5時

郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、受付期間最終日午後5時必着とします。

5. 出願資格審査のための書類提出期間

(1) 受付期間

一般選抜

筆答試験：平成27年6月10日(水)～平成27年6月12日(金)

(第2次募集を実施する場合：平成27年11月26日(木)～平成27年11月27日(金))

社会人特別選抜

第1次募集：平成27年6月10日(水)～平成27年6月12日(金)

第2次募集：平成27年11月26日(木)～平成27年11月27日(金)

(2) 受付時間：午前9時～午後5時

郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、受付期間最終日午後5時必着とします。

(3) 出願資格審査の結果は、下記日付で本人あてに通知します。

一般選抜

筆答試験：平成27年7月15日(水)

(第2次募集を実施する場合：平成27年12月16日(水))

社会人特別選抜

第1次募集：平成27年7月15日(水)

第2次募集：平成27年12月16日(水)

6. 検定料の納入について

(a) 払込方法

- ① 検定料払込書の入学志願研究科名、専攻名、修士課程（博士前期）等の別、おところ、お名前（フリガナ）、電話番号を黒のボールペンで正確に記入すること。
- ② 郵便局の窓口で、願書受付までに払込んでください。ただし、ATM（現金自動預入払出機）での払込みはできません。
- ③ 払込後、【振替払込受付証明書（お客さま用）】（日附印のないものは無効）を出願書類に添えて提出してください。また、払込票は各自で保管してください。

(b) 留意事項

- ① 検定料が払込まれていない場合、【振替払込受付証明書（お客さま用）】が出願書類に添えて提出されていない場合、【振替払込受付証明書（お客さま用）】に日附印がない場合は、入学願書は受理しません。
- ② 既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ア. 検定料を払込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。
 - イ. 誤って検定料を二重に払込んだ場合

7. 合格者発表

合格者の受験番号を下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、鹿児島大学理工学研究科ホームページ（<http://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>）にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話等による可否の照会には応じません。

一般選抜

口述試験：平成27年7月17日（金）午後3時

筆答試験：平成27年9月4日（金）午後3時

（第2次募集を実施した場合：平成28年3月7日（月）午後3時）

社会人選抜

第1次募集：平成27年9月4日（金）午後3時

第2次募集：平成28年3月7日（月）午後3時

8. 入学手続

（1）提出書類

宣誓書，在学保証書，卒業証明書等

（2）納付金等（平成26年度実績）

入学料 282,000円

授業料 267,900円（535,800円（年額））

※納付金等改定が行われた場合は，改定時から新料金が適用されます。

（3）入学手続期間等

入学手続の日時及びその他必要事項については，平成28年3月上旬頃合格者へ別途通知します。

（4）既納の入学料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。

（ア）入学料を払込んだが，入学手続をしなかった場合

（イ）入学料を誤って二重に払込んだ場合

9. 奨 学 金

独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者は，独立行政法人日本学生支援機構奨学金規定等により選考のうえ，奨学生に採用されることがあります。本理工学研究科では，各専攻ごとに定められた基準による推薦順位も考慮し，独立行政法人日本学生支援機構に推薦します。

10. 入学料免除

次に該当する者は，本人の申請により免除の対象となることがあります。

（1）経済的理由により入学料の納付が困難であり，かつ学業が優秀と認められる者

（2）次に掲げる事項のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者

（ア）入学前1年以内において，入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は入学する者もしくはその学資負担者が風水害等の災害を受けた場合

（イ）アに準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

11. 入学料徴収猶予

次に該当する者は，徴収猶予の対象となることがあります。

（1）経済的理由によって入学料の納付期限までに納付が困難であり，かつ学業が優秀と認められる者

（2）入学前1年以内において，入学する者の学資負担者が死亡し，または入学する者もしくはその学資負担者が風水害等の災害を受け，納付期限までに納付が困難であると認められる場合

（3）その他やむを得ない事情があると認められる場合

12. 授業料免除

次に該当する者は，本人の申請により免除の対象となることがあります。

（1）経済的理由により授業料の納入が困難であり，かつ学業が優秀と認められる者

（2）授業料の各期ごとの納期前6月以内において，本学に入学する者の学資負担者が死亡し，または本学に入学する者もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納入が著しく困難であると認められる者

13. 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

近年、大学院における社会人研究者、技術者等の再教育への要望が高まっていますが、通常の方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人研究者、技術者等はその勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、技術者等の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、理工学研究科では、大学院での履修を希望する社会人に対し、同条に定める特例による教育を実施しています。

14. 長期履修学生制度について

理工学研究科には、長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり、計画的に履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

希望者には入学手続の際に必要な書類を渡しますので、指導予定教員と相談のうえ理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係へお越してください。

15. 障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学と相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デジベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱 者	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

（注） 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

（1）時 期

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、なるべく出願期間の数日前までに相談してください。

（2）方 法

電話又は本学での相談いずれでもかまいませんが、次の事項等を記載した書類（様式任意）を提出していただく場合もあります。

- ① 志願する研究科の分野名，本人の氏名，生年月日
- ② 障害の種類・程度（医師の診断書が必要な場合がある。）
- ③ 受験の際，特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び電話番号，保護者の連絡先

16. 個人情報の取扱いについて

- （１）個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人鹿児島大学が保有する個人情報の保護管理に関する規則」に基づいて取り扱います。
- （２）出願にあたっては知り得た氏名，住所その他の個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の個人情報については，本学入学者選抜・合格者発表，追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導，授業料免除・奨学金の審査及び授業料の債権管理等を行うためのみ利用し，他の目的には利用しません。

17. その他

- （１）受験の際は，必ず受験票を持参してください。
- （２）出願手続後の提出書類の内容変更は認められません。
- （３）入学試験に関する照会は，送り先住所・氏名を記入し，所要の切手を貼付した返信用封筒を同封し，できるだけ郵送にて行ってください。
- （４）募集要項の郵送を求める時は，封筒表面に「大学院博士前期課程学生募集要項請求」と朱書きし，返信用封筒（角型２号，24cm×33.2cm）に依頼者の郵便番号，住所，氏名を明記の上，400円（速達の場合は780円）切手を貼ったものを同封してください。

入試情報開示

試験問題，配点・評価方法および出題の意図の開示

試験問題，配点・評価方法および正解・解答例は，請求に基づき開示します。

なお，正解・解答例については，「例示」であり，複数の正解・解答例があり得ます。

また，正解・解答例に代えて，出題の意図を開示する場合があります。

（ 窓口での閲覧のみ）

入試成績に関する個人情報の開示

平成28年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

- １．受験者本人からの請求に基づき，当該受験者の入学試験における個々の科目の得点または評価と総合得点並びに合否の別を開示します。
- ２．入試成績の開示期間は合格発表後２か月間です。（受付：平日の９時から16時）
- ３．入試成績の開示は，書面で行います。
- ４．請求方法は，次ページ様式「大学院入試情報開示請求書」と「鹿児島大学理工学研究科（博士前期課程）受験票」を添えて，下記に請求してください。
なお，郵送による場合は上記に，書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒を同封して，書留郵便により請求してください。
なお「大学院入試情報開示請求書」は，窓口でも配付いたします。

請求先 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

大学院入試情報開示請求書

平成 年 月 日

鹿児島大学大学院
理工学研究科長 殿

請求者 住所 _____

電話番号 _____
(郵送請求の場合記入してください。)

氏名 _____

選抜の方法（該当選抜に○を付し，所要事項を記載
してください）

- ・ 一般選抜（口述試験・筆答試験）
- ・ 一般選抜（筆答試験（第2次募集））
- ・ 社会人特別選抜（第1次募集・第2次募集）
- ・ 外国人留学生特別選抜（第1次募集・第2次募集）

専攻 _____

受験番号 _____

私の入試成績について，情報の開示を請求します。

注意事項

1. 請求者は，本学大学院の受験者本人に限ります。（代理人による請求は認めません。）
2. 個々の科目の得点または評価と総合得点並びに可否の別を開示します。
3. 開示期間は，合格発表後2か月間とし，開示請求は平日（土・日・祝日を除く。）の9時から16時までの間受け付けますので，受験票を添えて請求してください。
4. 郵送による請求の場合は，必ず電話番号を記入してください。連絡が取れないと開示できない場合があります。また，郵送の場合は，入試情報開示請求書，受験票及び書留郵便料に相当する切手を貼った返信用封筒を同封した書留郵便により理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係に請求してください。

IV. 外国人留学生特別選抜

1. 募集人員

専攻名	募集人員
機械工学	各専攻とも 若干人
電気電子工学	
建築学	
化学生命・化学工学	
海洋土木工学	
情報生体システム工学	
数理情報科学	
物理・宇宙	
生命化学	
地球環境科学	

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の要件を満たす者としてします。

(1) 日本語が理解できる者

(2) 次のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び平成28年（2016年）3月までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成28年（2016年）3月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑥ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者であると本研究科において認めた者
- ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達したもの（平成28年（2016年）4月1日時点で22才に達するものを含む）

（注1）出願資格⑦は、次に該当する者とする。

科学・技術関係の分野の業務に従事し、学習歴及び実務経験を証明する書類により、本研究科が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成28年（2016年）4月1日時点で22才に達したもの。

出願資格⑥、⑦により出願する者は、出願に先立って次の(a)、(b)、(c)の書類を本研究科に提出し、出願資格の審査を受けなければなりません。

(a) 本研究科所定の「入学試験出願資格認定審査調書」（別紙様式10）

(b) 学習歴を証明する書類（卒業証明書・成績証明書等個人の経歴に応じたもの）

(c) 実務経験を証明する書類（職歴・研修歴・研究歴等実務経験および国際的活動経験等を証明する書類）

IV. APPLICATION PROCEDURES FOR INTERNATIONAL STUDENTS ADMISSION

1. Admission Capacity

A limited number of students will be accepted into each department given below.

Department

- Mechanical Engineering
- Electrical and Electronics Engineering
- Architecture and Architectural Engineering
- Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering
- Ocean Civil Engineering
- Information Science and Biomedical Engineering
- Mathematics and Computer Science
- Physics and Astronomy
- Chemistry and Bioscience
- Earth and Environmental Sciences

2. Qualification for Application

Applicants should not hold Japanese nationality and must satisfy the next conditions.

- (1) Those who understand Japanese.
- (2) Those who must belong to one of the following categories.
 - ① Those who have already graduated, or are expected to graduate from Japanese university by the end of March, 2016.
 - ② Those who have been formally educated for 16 years in countries outside Japan, or are expected to graduate by the end of March, 2016.
 - ③ Those who while residing in Japan have completed or are expected to complete by the end of March 2016 at least 16 years of formal education through correspondence courses offered by accredited foreign educational institutions outside Japan.
 - ④ Those who while residing in Japan have completed or are expected to complete by the end of March 2016 undergraduate studies at a foreign college or university located in Japan (after 16 years of formal education under the educational system of that foreign country), which has been accredited by the educational system of that particular country and is appointed by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
 - ⑤ Those who have completed a specialization course in a college after it has been appointed by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (applicants must complete the minimum required 4 years of study and satisfy other standards stipulated by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology).
 - ⑥ Those who have completed 15 years course of school education in foreign country, and been admitted by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University to obtain sufficient credits with excellent score.
 - ⑦ Those who are approved for the achievements of academic and professional activities according to the procedures of judging by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University, to have academic standard, equivalent to or above of the university graduate, and 22 years old or over at the time of April, 2016. [See Note 1]

Note 1: Qualification ⑥ can be applied for those who have been engaged the work in the field of science or engineering, and are approved by the Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University, to have academic standard, equivalent to or above of the university graduate from the judgment due to the documents about educational background and professional carrier, and of age 22 years or more by April 1, 2016.

Applicants who wish to apply for admission with the category ⑥, ⑦ must submit the following forms:

- (a) Summary of academic and professional activities (use the prescribed form: Form 10)
- (b) Certificated academic record
- (c) Certificated professional experience

出願資格審査

(1) 受付期間

第1次募集：平成27年6月10日（水）～平成27年6月12日（金）

第2次募集：平成27年11月26日（木）～平成27年11月27日（金）

(a) 受付時間は午前9時から午後5時までとします。

(b) 郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、受付期間最終日午後5時必着とします。

(2) 出願資格審査の結果は、下記日付で本人あてに通知します。

第1次募集：平成27年7月15日（水）

第2次募集：平成27年12月16日（水）

3. 出願手続

出願期間

第1次募集：平成27年7月21日（火）～平成27年7月23日（木）

第2次募集：平成28年1月5日（火）～平成28年1月7日（木）

(a) 受付時間は午前9時から午後5時までとします。

(b) 郵送の場合は書留郵便で、封筒の表に「理工学研究科博士前期課程願書在中」と朱書きし、受付期間最終日午後5時必着とします。

問合せ先・出願書類等提出先

〒890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番40号 鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係

電話(099)285-3057 FAX(099)285-3410

E-mail:daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

Eligibility Check before Application

(1) Acceptance period

first application : From June.10 to June.12, 2015.

second application : From Nov.26 to Nov.27, 2015.

(a) Office hours: from 9 a.m. to 5 p.m.

(b) In the case of mailing, it must be sent by registered mail, and write “The Master’s Course Application Documents” in red on the envelope. All required documents must reach the Admission Office by the application deadline 5 p.m.

(2) The decision will be mailed to the applicants at the following date.

first application : July.15, 2015.

second application : Dec.16, 2015.

3. Application Procedure

Application period

first application : From July.21 to July.23, 2015.

second application : From Jan.5 to Jan.7, 2016.

(a) Office hours: from 9 a.m. to 5 p.m.

(b) In the case of mailing, it must be sent by registered mail, and write “The Master’s Course Application Documents” in red on the envelope. All required documents must reach the Admission Office by the application deadline 5 p.m.

Inquiry and Submission Addresses of Admissions Office

Research Administration, Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University 1-21-40 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan. TEL: +81-99-285-3057 FAX: +81-99-285-3410 E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

4. 出願書類等

(1) 下記の出願書類は、日本語または英語で作成してください。

出 願 書 類 等		出願資格別	注 意 事 項
1	入 学 志 願 票 受 験 真 歴 写 真 票 書	全 志 願 者	本研究科所定の用紙（別紙様式9－1～9－3）に必要事項を記入してください。写真票には、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きの写真（4cm×3cm）を貼付してください。
2	卒業（見込）証明書	出 願 資 格 ⑥を除く	最終出身学校等が発行したもの。
		出 願 資 格 ⑥該当者	最終出身学校等が発行した卒業（見込）証明書。 【資格審査時に提出】
3	成 績 証 明 書	出 願 資 格 ⑥を除く	最終出身学校等が発行し、厳封したもの。（証明書自動発行機で発行されたものは厳封の必要はありません。）
		出 願 資 格 ⑥該当者	最終出身学等が発行し、厳封したもの。 【資格審査時に提出】
4	TOEIC スコア又は TOEFL スコア (平成25年4月1日 以降受験したもの)	原則として 全 志 願 者 (地球環境 科学専攻志 願者は必要 ありません)	受験する専攻毎にスコア提出の有無ならびに種類が違いますので、必ず「外国人留学生特別選抜の TOEIC・TOEFLスコアの書類提出と採用方法について」(30～32ページ参照)を確認したうえで、提出してください。
5	住民票（写）又は パスポート（写）	全 志 願 者	市区町村長の交付する在留資格が記載された住民票の写し（日本国内在住の外国人の場合のみ）又はパスポートの写し（「受験」のために入国する場合）を提出してください。
6	検 定 料	国費外国人 留学生を除 く全志願者	30,000円を検定料払込書(巻末)により、郵便局から払込み後、出願書類に【振替払込受付証明書(お客さま用)】を添えて提出すること。なお、外国政府派遣留学生等に関して、留学生からの申請があった場合、検定料を免除します。ただし、外国の政府等から検定料が支給されている場合は適用しません。
7	返 信 用 封 筒	全 志 願 者	[受験票等送付用]（1枚）（出願書類を持参する者は不要） 市販の封筒（長形3号 12cm×23.5cm）に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入し362円切手を貼付したもの。国外の場合は、航空郵便物25グラム相当の国際返信切手を同封すること。
			[合格通知用・入学手続書送付]（2枚） 市販の封筒（角形2号 24cm×33.2cm）に志願者の住所・氏名・郵便番号を記入したもの。封筒には切手不要。

5. 入学者の選抜方法

選考は、学力試験・面接試験及び出願書類によって行います。

4. Application Documents

Applicants must submit the following documents filled in Japanese or English to the Postgraduate Affairs Section, Faculty of Engineering, during the given application period.

Application Forms and Documents		Category of Applicants	Notes
1	Application for Admission Identification for Examination, Photograph Sheet, Personal History	All applicants	Use the prescribed form (Form 9-1~9-3) and paste your passport-size photograph (hatless, facing forward, 4×3cm, taken within 3 months) as indicated.
2	Certificate of Bachelor's Degree (obtained or expected)	Applicants exclusive of Qualification⑥	The certificate must be an official document.
		Applicants corresponding to Qualification⑥	Submit graduation certificate of the last school attended. It must be submitted at the time of the application for recognition of Qualification.
3	Certified Academic Record	Applicants exclusive of Qualification⑥	Submit official transcript of the last school attended (in a sealed envelope).
		Applicants corresponding to Qualification ⑥	Submit official transcript of the last school attended in a sealed envelope. It must be submitted at the time of the application for recognition of Qualification.
4	TOEIC or TOEFL Score (conducted on or after 1 April 2013)	In principle, all candidates must submit a score (excluding the Earth and Environmental Sciences candidates).	As the score requirements differ from department to department, refer, in advance, to the International Students Special Admissions TOEIC/TOEFL Score Submission Guide on pages 33 to 36.
5	Copy of a Certificate of Residence	All applicants	Foreign applicants must submit a “Copy of a certificate of residence” issued by the head administrator of the city or other district in which his/her status of residence is stated. Overseas applicants coming to Japan for the entrance examination must submit a copy of their passport
6	Examination Fee	All applicants exclusive of International students who receive a Japanese Government Scholarship	¥30,000. Attach the Certificate of Postal Transfer Payment (copy for customer) to the application documents after paying the fee at the Post Office using the Entrance Examination Payment Form. (A last page). Foreign・government sponsored students who apply for an exemption. from the admission fee will be granted an exemption. However, students receiving the admissionfee from their government will not be exempted.
7	Three Return Envelopes	All applicants	[For a letter of identification of examination] This return envelope is a self-addressed envelope of 12 cm×23.5 cm affixed a ¥362 stamp on it. In case the address is outside Japan, an international reply coupon for a airmail postage for a worth 20 grams must be enclosed. (If the application documents are brought to the Postgraduate Affairs Section, Faculty of Engineering by an applicant oneself, this is not necessary.)
			[For a letter of the result of screening and entrance procedure] This return envelope is self-addressed envelope of 24 cm×33.2 cm. No need to affix a stamp on it.

5. Screening and Examination Procedure

The screening will be made on the basis of the results of the written examination, oral examination, and certified academic records.

6. 外国人留学生特別選抜の TOEIC 及び TOEFL スコアの書類提出と採用方法について

機械工学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の15時10分～15時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

電気電子工学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

建築学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の建築学科の学生に限り可）、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

化学生命・化学工学専攻応用化学・生命工学コース

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開, TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。

- 提出する人は、試験当日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

化学生命・化学工学専攻化学工学コース

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

海洋土木工学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の海洋土木工学科の学生に限り可）、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の16時20分～16時40分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

情報生体システム工学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEIC-IP（本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可）、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP（本学工学部内で受験した本学の情報生体システム工学科の学生に限り可）のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の14時40分～15時00分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

数理情報科学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の16時10分～16時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の英語試験又は日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

物理・宇宙専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の15時10分～15時30分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

生命化学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日の日本語試験を受験するか、出願時に平成25年4月1日以降に受験した TOEIC 公開、TOEIC-IP（本学理学部内で受験した者に限り可）、TOEFL-iBT のいずれかのスコアのコピーの提出が必要です。
- 上記の複数を受験した場合は、複数のスコアを提出できます。
- 提出する人は、試験当日の14時40分～15時00分の間に、スコア（原本）を提出してください。また、出願時とは異なる新たなスコア（原本）を提出することもできます。
- 試験当日に、複数のスコア（原本）が提出された場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験し、かつ、スコアを提出した場合は、最も優れた評価点を利用します。
- 試験当日の日本語試験を受験する場合は、出願時に申請してください。

地球環境科学専攻

- 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。
- 試験当日に、英語試験又は日本語試験を課しますので、出願時に申請してください。
- TOEIC、TOEFL は利用しません。

6. International Students Special Admissions TOEIC/TOEFL Score Submission Guide

Mechanical Engineering

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day, or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score for a test you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 15:10 and 15:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Electrical and Electronics Engineering

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day, or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score for a test you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:10 and 16:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Architecture and Architectural Engineering

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day, or attach to your application a copy of an official TOEIC, TOEIC-IP (only if you are an Architecture and Architectural Engineering student and have taken the test at the Faculty of Science, Kagoshima University) or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit two or more of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:10 and 16:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Applied Chemistry/Biotechnology Course-Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering Department

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:10 and 16:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Chemical Engineering Course-Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering Department

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:10 and 16:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Ocean Civil Engineering

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day or attach to your application a copy of an official TOEIC, TOEIC-IP (only if you are an Ocean Civil Engineering student and have taken the test at the Faculty of Science, Kagoshima University) or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit two or more of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:20 and 16:40 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Information Science and Biomedical Engineering

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the English or Japanese language examination on the examination day or attach to your application a copy of an official TOEIC, TOEIC-IP (only if you are an Information Science and Biomedical Engineering student and have taken the test at the Faculty of Engineering, Kagoshima University), TOEFL-iBT or TOEFL-ITP (only if you are a student of the Information Science and Biomedical Engineering and have taken the test at the Faculty of Engineering, Kagoshima University) score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit two or more of these scores.
- Submit the original score(s) between 14:40 and 15:00 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the English or Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the language test on the examination day and which one-English or Japanese-you plan on taking.

Mathematics and Computer Science

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the English or Japanese language examination on the examination day, or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 16:10 and 16:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the English or Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the language test on the examination day and which one-English or Japanese-you plan on taking.

Physics and Astronomy

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day or attach to your application a copy of an official TOEIC or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit both of these scores.
- Submit the original score(s) between 15:10 and 15:30 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Chemistry and Bioscience

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the Japanese language examination.
- You must either take the Japanese language examination on the examination day, or attach to your application a copy of an official TOEIC, TOEIC-IP (only if you have taken the test at the Faculty of Science, Kagoshima University) or TOEFL-iBT score you have taken on or after 1 April 2013.
- You may submit two or more of these scores.
- Submit the original score(s) between 14:40 and 15:00 on the examination day. You may submit a new original score that is different from the one you attached to your application.
- The best score among the ones you submit on the examination day will be used in our assessment.
- If you take the Japanese language test and submit the original score(s) on the examination day, the best score among them will be used in our assessment.
- Specify at the time of application whether you are planning to take the Japanese language test on the examination day.

Earth and Environmental Sciences

- If you are a native English speaker, all that counts is the command of the Japanese language you demonstrate during the examination.
- You must take either the English or Japanese language test on the examination day. Specify which one you are planning to take when you submit your application.
- A TOEIC or TOEFL score is unnecessary.

7. 試験科目・日時及び場所

(a) 学力試験

第1次募集：平成27年8月18日(火)

第2次募集：平成28年2月9日(火)

☆試験時間と試験科目

専攻名	試験時間及び試験科目				
機 械 工 学	時間	8時50分 ～10時20分	10時40分 ～12時10分	13時00分 ～ 15時00分	15時10分～15時30分
	外国語	日 本 語	専門科目 応用数学	材料力学，機械力学，工業熱力学，流体力学， 機械材料学，制御工学 上記6科目の中から2科目を選択（出願時に選択）	提出する人は、TOEIC公開，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P30に記載してあるので，必ず確認すること
電 気 電 子 工 学	時間	8時50分 ～10時20分	10時40分 ～12時10分	13時00分 ～14時20分	14時40分 ～16時00分
	外国語	日 本 語	専門科目 応用数学	電気磁気学	電気回路学
建 築 学	時間	8時50分 ～10時20分	13時00分～16時00分		16時10分～16時30分
	外国語	日 本 語	専門科目	計画系3科目(建築計画，都市計画，建築史)，環境系2科目(環境工学，建築設備)，構造系4科目(構造力学，建築材料，鉄筋コンクリート構造，鉄骨構造)の合計9科目の中から3科目を選択(出願時に選択)ただし，複数の系から選択し，1つの系からは2科目までとすること	提出する人は、TOEIC公開，TOEIC-IP，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P30に記載してあるので，必ず確認すること
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	時間	8時50分 ～10時20分	13時00分～16時00分		16時10分～16時30分
	外国語	日 本 語	専門科目	応用化学・生命工学コース：物理化学，分析化学，有機化学，生物化学，高分子化学 上記5科目の中から3科目を選択(出願時に選択) 化学工学コース：移動現象論，化工熱力学，単位操作，反応工学，無機化学及び無機材料化学 上記2コースのうちいずれかを選択（出願時に選択）	提出する人は、TOEIC公開，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P30～31に記載してあるので，必ず確認すること
海 洋 土 木 工 学	時間	8時50分 ～10時20分	10時40分～11時40分	13時00分～16時10分	16時20分～16時40分
	外国語	日 本 語	専門科目 応用数学	海洋物理学，水理学，構造力学，土木材料・コンクリート構造工学，土質力学 上記5科目の中から問題を見て3科目を選択	提出する人は、TOEIC公開，TOEIC-IP，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P31に記載してあるので，必ず確認すること
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	時間	8時50分 ～10時20分	10時40分～12時10分	13時00分～14時30分	14時40分～15時00分
	外国語	英 語 又は 日 本 語	専門科目 応用数学(線形代数，微分積分，微分方程式)	プログラミング言語，電気回路学の2科目の中から問題を見て1科目選択	提出する人は、TOEIC公開，TOEIC-IP，TOEFL-iBT，TOEFL-ITPの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P31に記載してあるので，必ず確認すること
数 理 情 報 学 科	時間	10時00分 ～11時30分	13時00分～16時00分		16時10分～16時30分
	外国語	英 語 又は 日 本 語	専門科目	数 学 (出題数は4問で，全問解答する。)	提出する人は、TOEIC公開，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P32に記載してあるので，必ず確認すること
物 理 ・ 宇 宙	時間	10時00分 ～11時00分	13時00分～15時00分		15時10分～15時30分
	外国語	日 本 語	専門科目	物理学に関する基礎問題	提出する人は，TOEIC公開，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P32に記載してあるので，必ず確認すること
生 命 化 学	時間	10時00分 ～11時30分	13時00分～14時30分		14時40分～15時00分
	外国語	日 本 語	専門科目	生命化学	提出する人は、TOEIC公開，TOEIC-IP，TOEFL-iBTの中から一つ以上のスコア(原本)を提出 詳細については、P32に記載してあるので，必ず確認すること
地 球 環 境 学 科	時間	10時00分 ～11時30分	13時00分～15時00分		
	外国語	英 語 又は 日 本 語	専門科目	地球環境科学	

7. Selected subjects of examination · Date and Place of Examination

(a) Written examination

first application: August 18, 2015

second application: February 9, 2016

Department	Examination Time and Examination Subjects				
Mechanical Engineering	08:50-10:20	10:40-12:10	13:00-15:00		15:10-15:30
	Foreign Language: Japanese	Applied Mathematics	Select 2 subjects from among Strength of Materials, Dynamics of Machinery, Engineering Thermodynamics, Fluid Mechanics, Materials in Mechanical Engineering, and Automatic Control		You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC or TOEFL-iBT. Refer to page 33 for detailed information.
Electrical and Electronics Engineering	08:50-10:20	10:40-12:10	13:00-14:20	14:40-16:00	16:10-16:30
	Foreign Language: Japanese	Applied Mathematics	Electromagnetism	Theory of Electric Circuit	You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC or TOEFL-iBT. Refer to page 33 for detailed information.
Architecture and Architectural Engineering	08:50-10:20	13:00-16:00			16:10-16:30
	Foreign Language: Japanese	Select 3 subjects from following course on application (Do NOT select 3 subjects within the same course): Design and Planning Course(“Architectural Design and Planning”, “Urban Design” and “Architectural History”), Built Environment Course(“Environmental Design” and “Building Equipment”) and Structures Course(“Structural Mechanics”, “Building Materials”, “Reinforced Concrete Structures” and “Steel Structures”)			You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC, TOEIC-IP or TOEFL-iBT. Refer to page 33 for detailed information.
Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering	08:50-10:20	13:00-16:00			16:10-16:30
	Foreign Language: Japanese	Select one group from following groups. Chemistry, Biotechnology : Select 3 subjects on application (Physical Chemistry, Analytical Chemistry, Organic Chemistry, Polymer Chemistry and Biological Chemistry) Chemical Engineering : Transport Phenomena, Thermodynamics, Unit Operation, Chemical Reaction Engineering, Inorganic Chemistry / Inorganic Materials Chemistry			You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC or TOEFL-iBT. Refer to page 34 for detailed information.
Ocean Civil Engineering	08:50-10:20	10:40-11:40	13:00-16:10		16:20-16:40
	Foreign Language: Japanese	Applied Mathematics	Select 3 subjects from Physical Oceanography, Hydraulics, Structural Mechanics, Construction Materials & Concrete Structural Engineering, and Soil Mechanics.		You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC, TOEIC-IP or TOEFL-iBT. Refer to page 34 for detailed information.
Information Science and Biomedical Engineering	08:50-10:20	10:40-12:10	13:00-14:30		14:40-15:00
	Foreign Language: English or Japanese	Applied Mathematics (linear algebra, derivation, integration, and differential equation)	Select 1 subject from Programming Language and Theory of Electoric Circuit.		You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC, TOEIC-IP, TOEFL-iBT or TOEFL-ITP. Refer to page 35 for detailed information.
Mathematics and Computer Science	10:00-11:30	13:00-16:00			16:10-16:30
	Foreign Language: English or Japanese	Mathematics			You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC or TOEFL-iBT. Refer to page 35 for detailed information.
Physics and Astronomy	10:00-11:00	13:00-15:00			15:10-15:30
	Foreign Language: Japanese	Basic Problems of Physics			You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC or TOEFL-iBT. Refer to page 35 for detailed information.
Chemistry and Bioscience	10:00-11:30	13:00-14:30			14:40-15:00
	Foreign Language: Japanese	Chemistry and Bioscience			You may submit one or more of your original scores on the official TOEIC, TOEIC-IP or TOEFL-iBT. Refer to page 36 for detailed information.
Earth and Environmental Sciences	10:00-11:30	13:00-15:00			
	Foreign Language: English or Japanese	Earth and Environmental Sciences			

☆試験科目配点

専 攻	専門科目	外 国 語	総 点
機 械 工 学	300	100	400
電 気 電 子 工 学	300	100	400
建 築 学	450	100	550
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	300	100	400
海 洋 土 木 工 学	400	100	500
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	300	100	400
数 理 情 報 科 学	400	100	500
物 理 ・ 宇 宙	400	100	500
生 命 化 学	200	100	300
地 球 環 境 科 学	100	100	200

☆ 検査開始後30分を超えて遅刻したときは、その科目等の受験を認めません。

☆ 英語を母国語とする者は、試験当日の日本語試験のみが有効です。

☆ 受験の詳細についてはあらかじめ当該専攻に確認すること。

☆ 関数付電卓の使用について

使用することができる専攻は以下の通りです。

・建築学専攻，海洋土木工学専攻

・化学生命・化学工学専攻(化学工学コース)は持ち込みはできませんが，検査時に貸与します。

(b) 面接試験

☆ 学力試験終了後

☆ 検査開始後30分を超えて遅刻したときは，受験を認めません。

(c) 試 験 場

専 攻	試 験 場
機 械 工 学	鹿児島大学工学部
電 気 電 子 工 学	
建 築 学	
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	
海 洋 土 木 工 学	
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	
数 理 情 報 科 学	鹿児島大学理学部
物 理 ・ 宇 宙	
生 命 化 学	
地 球 環 境 科 学	

＊日時，試験場等の詳細は，下記の日時に工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示します。

第1次募集：平成27年8月17日(月) 13時

第2次募集：平成28年2月8日(月) 13時

☆Written Examination Mark Distribution by Subject

Department	Major Subjects	Foreign Language	Total
Mechanical Engineering	300	100	400
Electrical and Electronics Engineering	300	100	400
Architecture and Architectural Engineering	450	100	550
Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering	300	100	400
Ocean Civil Engineering	400	100	500
Information Science and Biomedical Engineering	300	100	400
Mathematics and Computer Science	400	100	500
Physics and Astronomy	400	100	500
Chemistry and Bioscience	200	100	300
Earth and Environmental Sciences	100	100	200

☆Applicants who are more than 30 minutes late for the examination time can't take the subject.

☆Applicants have to select a foreign language examination excluding native language.

☆Applicants are strongly advised to have close contact with preferred academic advisor about the examination details.

☆On use of scientific calculator in examination.

Departments which permit use:

- Architecture and Architectural Engineering, Ocean Civil Engineering
- Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering (Chemical Engineering)

(The scientific calculator is loaned though cannot bring in.)

(b) Oral examination

☆after the Written examination

☆Applicants who are more than 30 minutes late for the examination time can't take the subject.

(c) Place of examination:

Department	Place of examination
Mechanical Engineering	Faculty of Engineering, Kagoshima University
Electrical and Electronics Engineering	
Architecture and Architectural Engineering	
Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering	
Ocean Civil Engineering	
Information Science and Biomedical Engineering	
Mathematics and Computer Science	Faculty of Science, Kagoshima University
Physics and Astronomy	
Chemistry and Bioscience	
Earth and Environmental Sciences	

*The details of the examination places will be posted in the entrance hall of "kyotsutou" of Faculty of Engineering and Faculty of Science on the following date.

first application : Aug. 17, 2015, at 13:00.

second application : Feb. 8, 2016, at 13:00.

☆ 詳細の問合せ先

機 械 工 学	足立 吉隆	adachi@mech.kagoshima-u.ac.jp
電 気 電 子 工 学	山本 吉朗	yamamoto@eee.kagoshima-u.ac.jp
建 築 学	塩屋 晋一	shin@aae.kagoshima-u.ac.jp
化 学 生 命 ・ 化 学 工 学	吉田 昌弘	myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp
海 洋 土 木 工 学	安達 貴浩	t-adachi@oce.kagoshima-u.ac.jp
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学	佐藤 公則	kimi@ibe.kagoshima-u.ac.jp
数 理 情 報 科 学	新森 修一	shinmori@sci.kagoshima-u.ac.jp
物 理 ・ 宇 宙	廣井 政彦	hiro@sci.kagoshima-u.ac.jp
生 命 化 学	笠井 聖仙	kasai@sci.kagoshima-u.ac.jp
地 球 環 境 科 学	河野 元治	kawano@sci.kagoshima-u.ac.jp

8. 合格者発表

第1次募集：平成27年9月4日(金) 午後3時

第2次募集：平成28年3月7日(月) 午後3時

合格者の受験番号を工学部共通棟玄関前と理学部掲示板に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、鹿児島大学理工学研究科ホームページ (<http://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>) にも合格者の受験番号を掲載します。なお、電話等による可否の照会には応じません。

9. 入学手続

(1) 提出書類

宣誓書、在学保証書、卒業証明書等

(2) 納付金等 (2014年度実績)

入 学 料 282,000円

授 業 料 267,900円 (年額 535,800円)

(注1) 国費外国人留学生は入学料、授業料ともに不要です。

(注2) 外国政府派遣留学生等に関して、留学生からの申請があった場合、入学料を免除します。
ただし、外国の政府等から入学料が支給されている場合は適用しません。

(注3) 入学料、授業料の納付が経済的理由により困難で、かつ学業優秀な者、又は風水害の被災等の特別な事情のある者には、選考の上、全額または半額の免除が認められる制度があります。

(注4) 納付金等改定が行われた場合は、改定時から新料金が適用されます。

(3) 入学手続期間等

入学手続の日時及びその他必要な事項は、2016年3月上旬頃合格者へ通知します。

(4) 既納の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

(ア) 入学料を払込んだが、入学手続をしなかった場合

(イ) 入学料を誤って二重に払込んだ場合

☆For further inquiry about the examinations

Mechanical Engineering	ADACHI Yoshitaka	adachi@mech.kagoshima-u.ac.jp
Electrical and Electronics Engineering	YAMAMOTO Kichiro	yamamoto@eee.kagoshima-u.ac.jp
Architecture and Architectural Engineering	SHIOYA Shinichi	shin@aac.kagoshima-u.ac.jp
Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering	YOSHIDA Masahiro	myoshida@cen.kagoshima-u.ac.jp
Ocean Civil Engineering	ADACHI Takahiro	t-adachi@oce.kagoshima-u.ac.jp
Information Science and Biomedical Engineering	SATO Kiminori	kimi@ibe.kagoshima-u.ac.jp
Mathematics and Computer Science	SHINMORI Shuichi	shinmori@sci.kagoshima-u.ac.jp
Physics and Astronomy	HIROI Masahiko	hiro@sci.kagoshima-u.ac.jp
Chemistry and Bioscience	KASAI Masanori	kasai@sci.kagoshima-u.ac.jp
Earth and Environmental Sciences	KAWANO Motoharu	kawano@sci.kagoshima-u.ac.jp

8. Notification of Results

first application : Sept.4, 2015, at 15:00.

second application : Mar.7, 2016, at 15:00.

The identification numbers of successful candidates will be posted in the entrance hall of “Kyotsutou” of the Faculty of Engineering and on the bulletin boards of the Faculty of Science, and also be sent to successful applicants by mail. In addition, the identification numbers of successful candidates will be posted on the Graduate School of Science and Engineering Kagoshima University homepage (<http://grad.eng.kagoshima-u.ac.jp/>). Inquiries about the results by other means such as telephone, etc, will not be accepted.

9. Entrance Formalities

(1) Documents to be submitted

A written oath, a guarantee of registration, a diploma (graduation certificate), etc.

(2) Payment of fees (2014, fiscal year)

Admission fee : 282,000 yen

Tuition : 267,900 yen per semester (535,800 yen annually)

Notes :

1. Students supported by the Japanese Government Scholarship are exempted from both admission fee and tuition.
2. Foreign-government sponsored students who apply for an exemption from the admission fee will be granted an exemption. However, students receiving the admission fee from their government will not be exempted.
3. There is a financial aid to students by exempting them from either total or half of the admission fee or tuition. Eligibility for the financial aid is based on financial need and academic achievement or sufferings of natural disasters.
4. If the Payment of fees are revised, then you will have to pay the revised amount.

(3) The schedule for enrollment procedure and other related items will be enclosed under the same cover of acceptance letter, which is planned to be sent to each successful applicant at the beginning of March, 2016.

(4) Fees will only be refunded in either of the following two cases:

- Fees were paid but the admission procedure was not completed.
- Fees were mistakenly paid twice.

10. 全般的な注意事項

- (1) 志願者は、願書提出前に希望する専攻の専攻長または研究指導教員と必ず連絡を取り、教育研究の内容などについて十分相談してください。
- (2) 受験の際は、必ず受験票を持参してください。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (4) 入学試験に関する照会は、送り先住所・氏名を記入し、所要の切手を貼付した返信用封筒を同封し、郵送で提出してください。募集要項の郵送を求める時は、封筒表面に「大学院博士前期課程外国人留学生学生募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角型2号、24cm×33.2cm）に依頼者の郵便番号、住所、氏名を明記の上、400円（速達の場合は780円）切手を貼ったものを同封してください。（受信場所が外国の場合は、航空郵便物500グラム相当の国際返信切手を同封のうえ請求すること。）

問い合わせ先及び出願書類等提出先

鹿児島大学理工学研究科等研究科・工学系学務課大学院係 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号 電話 (099) 285-3057 FAX (099) 285-3410 E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

10. General Instructions

- (1) Applicants are strongly advised to have close contact with preferred academic advisor at our graduate school and discuss their Master's program before submitting the application documents.
- (2) Applicants should bring their own Identification for Examination with them on the date of examination.
- (3) The contents of submitted documents will not be allowed to change after the documents are accepted.
- (4) Any inquiry about the entrance examination should be addressed to the Admissions Office. Please enclose a stamped, self-addressed envelope.

When asking for application forms by mail, indicate "To be requested an application form for Foreign students admission to the Master's course" on the envelope with red-ink, and enclose a self-addressed envelope (24cm × 33.2cm) with a stamp(s) equivalent to ¥400 (¥780 in case of express delivery). (If the applicant supposes to receive the requested form at foreign country, the postage should be enclosed for the amount of overseas (by air mail) as worth as 500g postal matter.)

Admissions Office:

Research Administration, Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University
1-21-40 Korimoto, Kagoshima, 890-0065, Japan.

TEL: +81-99-285-3057, FAX: +81-99-285-3410

E-mail: daigakuin@eng.kagoshima-u.ac.jp

V. 大学院理工学研究科 博士前期課程の概要

(平成27年度)

(平成27年 4 月 1 日現在)

機 械 工 学 専 攻

機械工学専攻で取り扱う教育研究の範囲は、材料の物性と強度、構造物設計、機器の設計と制御、生産加工、熱・流体が関与する諸現象、エネルギー利用技術、各種工学現象の解明や機械設計への計算機利用技術ならびに各種システム構成技術等である。本専攻では学部教育課程での機械工学基礎教育を踏まえ、機械技術の高度化と先端化を追求するために必要な知識を積極的に取り入れて応用することのできるエンジニアの育成を目指している。また、本専攻では上記の広範囲にわたる機械工学領域の教育研究を3つのコースで分担実施している。

コース ワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
生 産 工 学	鉄鋼材料、非鉄材料、セラミック材料、複合材料、電子材料その他新素材の開発に加え、それら材料の強度や特性の計測と評価、特性発現機構の理解、種々の環境が強度や特性に与える影響の評価と理解、塑性加工およびトライボロジー、数値計算方法の開発のための研究として、材料熱力学、材料組織学、結晶学、材料強度学、環境強度学、計算力学、固体力学、破壊力学、塑性加工学など、生産工学に関する幅広い領域の教育研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○ 界面破壊力学 ○ 電子実装部の信頼性評価 ○ 3D/4D材料組織学 ○ 先端鉄鋼材料学 ○ 構造材料の寿命診断技術の開発 ○ 金属・セラミック・複合材料の開発と特性評価 ○ 原子力材料の照射効果	固体力学特論 相変態特論 機械材料学特論 材料物性特論 高エネルギー材料工学特論	池田 徹 足立 吉隆 駒崎 慎一 中村 祐三 佐藤 鉦一
エ ネ ル ギ ー 工 学	ミニチャンネル及びマイクロチャンネル内気液二相流の流動現象、流体力を利用した環境保全機器の開発、バイオ燃料のディーゼルエンジンにおける燃焼、工業機器における超音速流れの解析と超小型人工衛星の熱解析、マイクロチャンネルを流れるガスの流動及び熱伝達特性の解明とその工業応用などに関する教育研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○ ミニチャンネルおよびマイクロチャンネル内気液二相流の流動機構・圧力損失・ボイド変動特性 ○ 流体力を利用した環境保全機器の開発 ○ ディーゼル機関およびバーナ機器におけるバイオ燃料の利用 ○ 溶射用超音速ノズルの開発 ○ マイクロチャンネルガス流の流動および熱伝達特性	流動工学特論 流体機械特論 熱機関工学特論 数値熱流体工学特論 伝熱工学特論	井手 英夫 * 福原 稔 木下 英二 片野田 洋 洪 定杓
機 械 シ ス テ ム 工 学	自励振動現象の発生メカニズムと防止対策・有効利用、効率的な製造を支える材料の精密加工と加工機械の知能化、塑性加工とトライボロジー、高機能機械システムを設計・制御するための理論の発展と新しい技術の開発、高機能医療・福祉システムの開発、マイクロ・ナノバイオメカニクス等の研究を行っている。また、コンピュータを利用した計測制御、応用システム工学、非線形システム制御の研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○ ボーリング加工における穴多角形化の防止対策 ○ エンドミル加工における振動低減と加工計測制御 ○ 金属加工の変形機構とトライボロジー ○ 機械システムへの制御理論の応用 ○ ロボットの知的マニピュレーション ○ 高機能医療・福祉システム ○ R T 技術の工場自動化への応用 ○ 非線形制御理論とその応用展開 ○ 新生児聴覚診断装置の開発	精密加工工学特論 トライボロジー特論 機械力学特論 ロボット工学特論 機械制御工学特論 計測制御工学特論 非線形システム制御特論 生体機械工学特論	近藤 英二 上谷 俊平 松崎 健一郎 余 永 林 良太 熊澤 典良 西村 悠樹 村越 道生

*は平成28年3月退職予定の教員

電 気 電 子 工 学 専 攻

高度情報社会における科学技術の特徴は、新素材、超 LSI、コンピュータなど、先端技術に見られる個別技術のハイテク化と、これらを結合したシステム化である。特に、新しいコンセプトに基づく新素材、デバイスの開発などを目指す電子物性デバイス工学、新しい電気エネルギー源や、電気エネルギーのシステムの利用を図る電気エネルギー工学、通信・情報・電子計算機などを統合した通信システム工学等の技術は、情報化社会を支える基盤技術であり、現代社会のあらゆるところで活用される。このような現代の電気電子系の技術の体系に呼応して、本専攻は、次のような分野を持つ3つコースワークに分かれて、教育研究を実施している。

コースワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
電子物性デバイス工学	高度情報化社会を支援している電子デバイスには多種多様なものがある。これらの電子デバイスの動作原理を研究するとともに、デバイスの高性能化に不可欠な電子材料の設計、作製プロセスなどの研究を行う。主に、高温超伝導体や酸化物の薄膜を用いた素子、ディスプレイ用の透明導電膜、光で充電できる電池の研究を行う。また、光電子分光などを用いた物性評価、プラズマプロセス、レーザー蒸着法や気相成長法などの作製プロセスの研究を行う。 [主な研究テーマ] ○超伝導デバイス ○液晶ディスプレイ用透明導電膜 ○高効率太陽光発電デバイス ○熱電変換デバイス ○光蓄電池 ○レーザー蒸着による機能性酸化物薄膜の作製と評価 ○光電子分光による電子構造評価 ○プラズマプロセス技術 ○先進気相成長技術	微視的結晶成長プロセス工学 電子デバイス特論 強相関電子デバイス工学特論 機器分析特論 固体物性特論 電子材料特論	小原 幸三 * 白樂 善則 寺田 教男 堀江 雄二 奥田 哲治 前島 圭剛
電気エネルギー工学	システム制御理論とその電力系統制御への応用、並びに電気エネルギー変換装置としての DC-DC コンバータにおける雑音低減化に関する研究を行う。また、電気機器・パワーエレクトロニクス及び電動機ドライブの分野における高性能化・高信頼性化・インテリジェント化・小型化に関して解析と実験の両面よりの研究を行う。更に、高品質・高信頼性が要求される電力システムについて、超伝導技術を応用して格段の性能向上を図る研究や、信頼性向上のための配電設備劣化診断法の開発研究を行う。 [主な研究テーマ] ○電力系統の制御と同定・予測に関する研究 ○双方向 DC-DC コンバータの制御に関する研究 ○永久磁石同期電動機の位置センサレスドライブに関する研究 ○高効率モータ開発のための磁気計測法に関する研究 ○超伝導電力機器や核融合装置用超伝導コイルの研究 ○配電設備の劣化診断や負荷管理に関する研究	動的システム工学特論 デジタル制御システム特論 パワーエレクトロニクス特論 電磁エネルギー工学特論 電気エネルギーシステム特論 超伝導工学特論	八野 知博 田中 哲郎 山本 吉朗 甲斐 祐一郎 川畑 秋馬 川越 明史
通信システム工学	情報通信ネットワーク社会を支える電子回路・コンピュータ・情報通信機器・LSI・無線通信・電波工学・高周波工学等の教育研究を行う。特に、光ファイバ通信技術、超高周波回路技術、システム LSI 技術、無線電力伝送技術、無線通信システム、高周波計測技術、光・高周波融合技術、光信号処理技術および柔軟な情報処理による知的システムの開発などに関する研究を行う。 [主な研究テーマ] ○超高速通信用極低電力 AD/DA 変換 LSI 技術 ○無線電力伝送技術 ○マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ帯高集積回路設計技術 ○光・高周波融合技術および光信号処理技術 ○ニューロファジィシステムの構築 ○無線センサネットワークの通信方式と応用	通信用 LSI 工学特論 動的システム工学特論 並列処理システム デジタル通信システム特論 光通信工学特論 マイクロ波工学特論	大畠 賢一 八野 知博 宮島 廣美 ** 重井 徳貴 福島 誠治 西川健二郎

*は平成28年3月退職予定の教員

**は平成29年3月退職予定の教員

建 築 学 専 攻

建築学専攻では、人類の建築文化と技術を継承し、地域環境の保全に配慮しながら、現代の科学技術を総合的に活用して建築空間と生活環境の創造・維持に貢献できる専門的職業人・研究者の養成を教育の理念としており、建築計画と建築環境、建築構造の3分野を中心とした教育を行っている。

■コースワークについて

建築学専攻の教育面の特長は、建築実務と密接に関連した、建築設計・環境設計・構造設計の3分野のコースワークがカリキュラム化されていることである。

建築設計コースワークでは、建築設計と都市設計に関する実践的能力の育成を目標としており、実践的な課題を用いた設計演習を通して、建築の設計および都市や地域の設計に関する多角的で実践的な能力を養う。また設計演習と連携した講義では、建築の設計および都市計画やまちづくりの計画作成に必要な視点と技術や技法に関する幅広い知識を修得する。

環境設計コースワークでは、建築物の環境性能を総合的に評価する能力の育成を目標としている。現実的な課題を用いた設計演習を通して、建築物の室内外環境、サービス性能、エネルギー、資源やマテリアルなどの視点から環境性能を多面的に評価し、建築物の総合環境性能評価を実践する能力を養う。また演習課題と連携した講義では、総合環境性能評価に必要な知識や技術を習得する。

構造設計コースワークでは、建築物の構造設計に関する実践的能力の育成を目標としている。現実的な課題を用いた設計演習を通して、構造計画、応力解析や変形解析、各種構造や基礎構造の設計に関する能力を養う。また演習課題と連携した講義では、構造設計に必要な知識・技術を修得する。

■建築設計実務経験プログラムについて

2008年11月の建築士法改正により建築士試験の受験資格が見直され、大学院における実務経験の審査基準が変更されたが、本専攻では2009年4月から計画・構造・環境の各専門領域に関する建築設計実務経験プログラムを設置しており、修得単位に応じた実務経験年数（最大2年）が認められる。

コースワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
建 築 設 計	病院や複合施設の建築計画、集合住宅等の地域計画、都市景観と都市整備、空間デザインと建築意匠等に関する研究教育と、コースワークを通して建築設計に関する教育を行う。 [主な研究テーマ] ○設計論 ○都市論 ○都市景観 ○複合施設計画 ○建築論 ○空間設計法 ○住文化と住宅計画 ○都市計画 ○地域計画 ○医療・福祉施設	地域再生デザイン特論 都市デザイン特論 医療福祉建築特論 建築デザイン特論	鯨坂 徹 木方 十根 柴田 晃宏
環 境 設 計	温熱や光に関する居住環境、空気質に関する室内環境、建築設備に関する研究教育と、コースワークを通して環境設計に関する教育を行う。 [主な研究テーマ] ○居住空間の温熱・空気・光環境の解析と評価 ○居住環境の調整法 ○自然エネルギーの建築物への適用技術 ○地域の熱環境の解析と評価	熱環境特論 環境設計特論	二宮 秀與 曾我 和弘
構 造 設 計	構造力学、荷重評価、構造性能評価、構造最適化、地震動の特性と地震災害、建築材料の材料工学や構法に関する研究教育と、コースワークを通して構造設計に関する教育を行う。 [主な研究テーマ] ○大スパン構造の設計 ○構造形態の創生 ○構造物の動的安定評価 ○フレッシュコンクリートの施工性能 ○高性能鉄筋コンクリート構造 ○建築構造物の性能設計・最適設計 ○建築物の地震応答性状と耐震安全性 ○高性能木質ラーメン構造の開発 ○腐食部材の耐震性	構造形態創生特論 構造設計特論Ⅰ 建築材料学特論 連続体の力学 構造設計特論Ⅱ	本間 俊雄 塩屋 晋一 黒川 善幸 澤田樹一郎

化学生命・化学工学専攻

化学生命・化学工学専攻では、人間社会および自然環境と科学技術の調和を希求しつつ、国際的な視点から新しい科学技術・産業構造を提案し、これを世界に発信できる高度専門職業人の育成を教育の理念としている。教育目的を具現化するため、以下の3つのコースワークを設けている。1) 化学工学コースでは、反応・分離・エネルギー伝達と変換・資源循環・機能性材料プロセッシング等の各種プロセス、およびこれら要素プロセスを集合する高度なシステム工学を、2) 応用化学コースでは、分子軌道論に基づいた有用物質の創造、材料表面観察技術の開発、新規機能物質の創成、クリーンエネルギー技術やそのための高度分析技術の開発に関する知識を、3) 生命工学コースでは、生命の恒常性やその仕組みの解明、疾病に対する創薬・ナノテクによる検査診断、バイオマテリアル開発に関する知識を、それぞれ体系的に学ぶことができる教育・研究体制を整えている。

コース ワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
化 学 工 学	「環境と調和した化学プロセスの開発」、「エネルギーなどの資源を有効利用するシステムの構築」および「高度な機能をもつ材料の創製」の分野で将来活躍できる研究者・技術者の育成を目指す。 〔主な研究テーマ〕 ○機能性セラミックスによる次世代再生可能エネルギーの開発 ○多相系反応器における反応と流動の解析 ○バイオマス資源とする化学原料の製造 ○固体酸化物形燃料電池材料に関する研究 ○高機能性を付与した高分子微粒子に関する研究 ○光触媒の可視光活性化処理に関する研究 ○バイオマテリアル開発	コロイドプロセス特論 反応工学特論 セラミックス工学特論 機能性材料工学特論 微粒子工学特論 生物化学工学特論 固体酸化物形燃料電池の材料科学	平田 好洋 甲斐 敬美 鮫島宗一郎 吉田 昌弘 中里 勉 武井 孝行 山地 克彦 ※
応 用 化 学	有用物質の創造、表面観察技術の開発、マイクロリアクターの開発、環境保全技術の開発などに優れた創造力・開発能力を有し、世界に情報発信できる能力を持つ人材の育成を目指す。 〔主な研究テーマ〕 ○環境中に放出される微量有害物質の分析・評価法と除去・回収法の開発 ○金属薄膜表面の形態観察と状態分析 ○光と物質の相互作用の解明とそれを基にした新規な化学計測法の開発 ○分子集合体化学 ○農薬由来毒性物質の探索とバイオ燃料精製技術の開発研究 ○微量有害元素の水生生物への生態影響に関する研究	環境・エネルギー化学特論 化学計測材料特論 分光分析特論 機能性材料工学基礎特論 生体環境リスク基礎特論 環境分析化学特論	大木 章 肥後 盛秀 吉留 俊史 上田 岳彦 高梨 啓和 中島 常憲
生 命 工 学	創薬や疾病の診断治療、持続的社会を構築するバイオベーマテリアルなどを新たに生み出す開発力を養い、習得した知識や手法に基づいた発想や成果を、世界に発信できる能力を持つ人材の育成を目指す。 〔主な研究テーマ〕 ○糖鎖の合成とナノバイオテクノロジー ○多糖の材料化・機能化 ○バイオ医薬品を志向したタンパク質・ペプチドのデザイン研究 ○生体高分子中の生物活性構造の探索とその機能材料化 ○有機無機複合材料の創製 ○機能性高分子材料の創製	生体分子親和機構論 高分子材料精密合成特論 生体高分子化学 有機無機複合材料化学特論 生物有機材料化学 生体材料工学特論	隅田 泰生 門川 淳一 橋本 雅仁 金子 芳郎 萩原 義久※ 山元 和哉

※は客員教員

海 洋 土 木 工 学 専 攻

海洋土木工学専攻で取り扱う教育・研究の範囲は、沿岸域での土木工学，大陸棚以浅の海洋域での海洋構造物等の海洋工学に係わる諸問題を対象としている。したがって，学部での土木工学，海洋学に関する基礎教育・専門教育を踏まえ，沿岸域・海洋域での「海」に対する理解をさらに深め，地球環境を総合的に把握し，環境保全・開発，防災等に供用される土木構造物・海洋構造物建設のための調査・設計・施工・維持管理・補修，さらにはそれらの構造物の廃棄を含めた技術を修得したエンジニアの育成を目指している。

海洋土木工学専攻では，環境システム工学と建設システム工学の2分野にまたがる海洋土木工学の基礎を広く理解したうえで，1つ以上の分野に秀でた学生を育てるためのコースワークを構成している。各コースの主な教育研究内容，授業科目等は次のようになっている。

コース ワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
環 境 シ ス テ ム 工 学	沿岸域・海洋域での物理現象の解明，利用と開発，環境の保全，防災に重点をおいた研究教育を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○港湾構造物への波浪の影響 ○高潮・津波の数値解析 ○海洋波動 ○内部波の非線形特性 ○海浜変形機構 ○波浪変形解析 ○沿岸植生場の水理 ○沿岸生態系のシミュレーション ○潮汐及び副振動の特性 ○黒潮の変動特性 ○海潮流発電の適地選定 ○鹿児島湾の海水交換過程 ○地盤環境評価 ○土砂災害の発生機構と防災	海洋水理学特論 〃 海岸防災特論 環境水理学特論 海洋物理環境学特論 土砂水理学特論 地盤環境工学特論	浅野 敏之 高橋 重雄 ※ 柿沼 太郎 安達 貴浩 山城 徹 齋田 倫範 酒匂 一成
建 設 シ ス テ ム 工 学	沿岸域・海洋域での土木構造物・海洋構造物の建設のための「ものづくり」（設計，施工，補修）に重点をおいた研究教育を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○海洋構造物系の動的応答解析 ○免震橋梁系の耐震性能解析 ○地盤基礎・構造物系の耐震性能評価 ○コンクリート構造物の力学特性 ○海洋コンクリート構造物の耐久性 ○新しい建設材料の開発利用 ○産業副産物や未利用資源の有効利用 ○港湾構造物の維持管理システムの構築 ○構造物の劣化シミュレーション ○構造物の診断・補修・補強システム ○地盤の変形・破壊予測	維持管理工学 〃 〃 建設材料学特論 土質力学特論 地盤工学解析法 コンクリート構造特論 構造力学特論	武若 耕司 審良 善和 加藤 絵万 ※ 武若 耕司 三隅 浩二 三隅 浩二 山口 明伸 木村 至伸

※は客員教員

情報生体システム工学専攻

情報生体システム工学専攻ではソフトウェア工学、情報システム工学、脳認知工学、ならびに生体計測工学に関する高度な専門教育と研究活動を行います。根幹となる情報システム工学の知識と応用力に加え、ヒトの認知過程や生体システムの本質を理解し、人類のより豊かな生活の創造に貢献できる人材を育成することを目的としています。

本専攻では多様な科目履修を可能とするため下記の表の様に「情報システム工学」「認知生体システム工学」の2つのコースワークを設けています。学生は所属するコースワークの科目を履修することで高い専門知識を、他方のコースワークを履修することで幅広い知識を身につけることができます。

さらに、「情報生体システム工学特別研究Ⅲ」によって指導教員以外の担当教員による副テーマの研究を行い幅広い視野で情報生体システム工学に関する研究を進めることができます。

コースワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
情報システム工学	本コースワークでは右記の主な授業科目に示すように計算機の情報処理とネットワーク面を主に教育し、次のような研究テーマの特別研究やゼミナールを通して情報システム工学の専門性の高い技術者や研究者の養成を目指しています。 〔主な研究テーマ〕 ○量子アルゴリズムの研究 ○分散並列処理の研究 ○群知能・進化的アルゴリズムの研究 ○人間顔の自動抽出と個人認識に関する研究 ○分子コンピュータの研究 ○計算機ホログラフィによる光情報処理 ○分散システムと教育への応用 ○超伝導のシミュレーション ○連続状態空間における強化学習 ○有限要素法及び境界要素法による電磁場解析 ○多様性を有する表現に関する研究 ○計算知能とその応用に関する研究 ○コンピュータグラフィクス・3次元処理に関する研究	情報計測システム工学 分子情報工学特論 光情報処理特論 情報機能素子 ソフトウェア工学特論 非平衡統計力学特論 数値解析特論 コンピュータビジョン特論 人工知能特論	佐藤 公則 大橋 勝文 森 邦彦 水野 和生 湊田 孝康 加藤 龍蔵 二宮 公紀 ** 川崎 洋 小野 智司
認知生体システム工学	本コースワークでは右記の主な授業科目に示すように脳認知と生体計測面を主に教育し、次のような研究テーマの特別研究やゼミナールを通して認知生体システム工学の専門性の高い技術者や研究者の養成を目指しています。 〔主な研究テーマ〕 ○生体高分子の構造と機能に関する研究 ○人間の視覚情報処理に関する研究 ○神経細胞による視覚情報の符号化様式の研究 ○ヒトの動的視覚情報の処理特性に関する研究 ○水晶振動子を用いたセンサに関する研究 ○生体組織・生体分子の電気伝導・誘電特性・磁気特性機構の量子論・統計物理的解明 ○生体磁気刺激に関する研究 ○脳の視覚的認知機能に関する研究 ○視覚系・非視覚系経路のメカニズムの解明 ○生体運動制御メカニズムに関する研究 ○人間の聴覚情報処理に関する研究	知能画像工学 生物情報科学 視覚情報処理工学 神経情報工学 複雑系生体情報システム特論 生体電磁工学特論 生体情報制御システム 視覚工学特論 聴覚情報処理特論 生体運動制御特論	渡邊 睦 升屋 正人 大塚 作一 内山 博之 吉本 稔 湯ノ口万友 * 王 鋼 辻村 誠一 吉田 秀樹 塗木 淳夫

*は平成28年3月退職予定の教員

**は平成29年3月退職予定の教員

数 理 情 報 科 学 専 攻

数学の基本構造とその解析はもとより，広く理系，文系の諸科学との交流により多様化をみせている数理科学及びその関連分野，さらに情報科学・計算機科学の理論的な基礎などの教育研究を行う。数学の基礎理論を深く理解するとともに，数理科学の発展に意味を与えている自然や社会の諸現象の数理的解析と計算機理論にも理解を持ち，かつ応用力のある人材の養成を図る。

コース ワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
数 理 構 造	数学は自然科学の発展とそれがもたらす科学技術の進歩に不可欠な理論的基礎を与えている。本コースでは，数学の理論体系に関する教育研究を行い，代数学，解析学，幾何学における数学構造の本質を追究する。 〔主な研究テーマ〕 ○複素幾何学 ○位相幾何学 ○微分幾何学 ○複素解析学	位相数理特論 幾何学特論 複素解析学特論 数理代数学特論	與倉 昭治 愛甲 正 小櫃 邦夫 村上 雅亮 中岡 宏行
現 象 数 理	本コースでは，自然と社会に現れる諸現象の解析を視野に含め，以下の研究内容に関して，数理科学の理論的側面と応用についての教育研究を行う。 〔主な研究テーマ〕 ○数理統計学 ○表現論	数理システム学特論 解析学特論 表現論特論	種市 信裕 松本 詔 伊藤 稔
情 報 数 理	情報科学は近年の計算機の著しい発達に伴い，急速な発展を遂げている。本コースでは，以下の研究内容に関して，情報科学分野の数学的理論と応用に関する教育研究を行う。 〔主な研究テーマ〕 ○多変量データ解析 ○時系列解析 ○信頼性理論・ネットワーク理論 ○情報数理学 ○理論計算機科学 ○数理統計学	社会数理学特論 情報システム信頼性特論 情報意味論特論	近藤 正男 * 新森 修一 古澤 仁

*は平成28年3月退職予定の教員

物理・宇宙専攻

物理学は自然科学及び科学技術全ての基礎をなす重要な学問分野で、素粒子から物質、生命・宇宙までの非常に広い自然の階層全てを対象とする。本専攻では、自然の基本的かつ普遍的現象を見出し解明する研究に加え、物性研究や宇宙探求の最先端技術とも結びつく研究を行っている。そこでは、次世代技術の基礎を担い実践的に問題を解決していくことができる人材の養成もめざしている。宇宙航空研究開発機構、国立天文台との間で連携大学院をも構成しており、人工衛星を用いた宇宙環境の研究やVERA望遠鏡を用いた銀河の研究も進めている。

[illegible]

※は客員教員

生 命 化 学 専 攻

生命化学専攻では、化学ならびに生物学の知識と技術の両方を併せ持ち、両分野にわたって活躍できる人材を養成する。研究分野には、物理化学的な手法を用いた界面活性剤と生体高分子との相互作用の解析、分光学的手法を用いた光化学の機構の解明およびナノ材料化学の合成に関する研究、動物や植物等の生物由来の生物活性物質の化学的研究、新規合成反応の開拓および反応系の解明とその利用、タンパク質（特に酵素）の構造と機能解析および医薬品やマテリアルとしての応用研究、また生体内および生体間の遺伝子発現調節機構、個体発生のメカニズム、外部刺激（特に味覚刺激）に対する神経系の情報処理機構と行動発現の仕組みの解明などが含まれる。

コース ワーク	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
分 子 機 能 化 学	界面活性剤の生体高分子との相互作用や反応機構の解明、それらの複合体の合成と利用、光生命現象や光機能分子の役割、人工光合成や金属ナノ粒子・半導体ナノ粒子の構造と機能についての、分子科学に関する研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○分子集合体系での光化学 ○金属ナノ粒子の新規合成法の開発とバイオセンサーへの応用 ○レーザーアブレーションによるコロイド粒子の構造と機能 ○人工光合成モデル系の開発	量子化学特論 コロイド化学特論	蔵脇 淳一 新留 康郎
有 機 生 化 学	動物や植物等に含まれる二次代謝産物の単離・構造決定ならびにその生物活性の研究、有機合成反応系の機構解明ならびにそれを利用した新規有機化合物の合成、タンパク質（特に酵素）の精製と機能および構造解析などについての研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○天然生物活性物質の構造と活性相関 ○立体選択的 Diels-Alder 反応の開発 ○タンパク質分解酵素と細胞外マトリックスを利用した医薬品開発およびDDS（ドラッグデリバリーシステム）技術への応用 ○酵素反応を利用したマイクロリアクタの開発	タンパク質化学特論 生理活性化合物合成特論 生体機能制御化学特論 天然物構造機能特論 有機反応特論	伊東 祐二 岡村 浩昭 有馬 一成 濱田 季之 横川 由起子
生 命 機 能	植物と微生物との共生機構の解明とその農業や環境修復への応用および生物間相互作用における遺伝子発現の調節機構、脊椎動物の体軸形成の機構、味覚、痛覚によって誘発される行動の神経機構の解明などについての研究を行っている。 〔主な研究テーマ〕 ○窒素固定共生系における微生物と宿主植物の相互作用 ○魚類およびほ乳類の味覚および痛覚の神経機構 ○ツメガエル胚の体軸形成機構 ○環境汚染物質（水銀）の分子毒性メカニズム	発生細胞学特論 生命情報学特論 細胞分子機能特論 細胞生理化学特論 ゲノム情報学特論	坂井 雅夫 笠井 聖仙 内海 俊樹 塔筋 弘章 九町 健一

地球環境科学専攻

人間が生存する場である地球について、地圏、水圏と生物圏とを総合するグローバルな立場に立った総合的な教育と研究を進める。そのため本専攻では、自然環境の実態やその変動の基礎的なメカニズムを理解するために、主として、地学、生物学、化学の分野からの研究・教育を行う。社会の様々な立場で能力を発揮するために、個別課題に対する高度な専門知識だけでなく、従来の学問分野の枠を超えた幅広い知識と教養をあわせ持ち、柔軟かつ総合的な思考力を備えた人材の養成を目指している。

コース ユニット	主 な 教 育 研 究 内 容	主 な 授 業 科 目	教 員 氏 名
地 球 科 学	地形・地質学的手法による地質発達構造史の研究，化石を用いた生物進化の研究，環境鉱物学や環境微生物学的な手法を用いた地球環境の変遷維持機構や地球生命圏の実態解明に向けた研究，粘土鉱物の利用や機能開発など産業活動と直結する研究，斜面災害や地震・噴火災害など防災に関する研究，九州から南西諸島のテクトニクスを解明するための地震活動，プレート運動による地殻活動と火山噴火，噴火現象や噴火史などの調査研究が行われている。理工学研究科附属南西島弧地震火山観測所と協力して地震や火山の予知研究も行われている。 [主な研究テーマ] ○地史・地質構造発達と生物進化 ○粘土鉱物の生成機構 ○地質環境と防災 ○九州南西諸島域のテクトニクス ○地震活動 ○プレートの変動と火山噴火 ○火山地質	古脊椎動物学特論 環境鉱物学特論 災害地質学特論 地球テクトニクス特論 地殻構造特論 地震学特論 測地学特論 震源過程特論 火山堆積システム特論 火山岩相解析特論	仲谷 英夫 河野 元治 井村 隆介 山本 啓司 宮町 宏樹 後藤 和彦 中尾 茂 小林 励司 鹿野 和彦 ** 鹿野 和彦 **
環 境 解 析	無機分析化学の立場から，水銀やヒ素などの微量分析法を確立し，環境中での存在形態の解明をめざしている。生物海洋学の立場から海洋における栄養塩や有機物の分布状況を調べ，物質循環について探求している。地質学の立場から岩石や鉱物の元素の挙動について調べている。 [主な研究テーマ] ○水銀やヒ素などの微量分析法 ○海洋の物質循環 ○岩石や鉱物の元素の挙動	環境化学特論 無機反応化学特論	富安 卓滋 神崎 亮
多 様 性 生 物 学	西南日本から東南アジア熱帯林にかけての陸域における植物を対象とした生態学的研究，分子細胞レベルの遺伝的多様性の研究，また，浅海域や淡水域における底生生物や，水中や陸上の軟体動物の分類・生態の研究が行われている。 [主な研究テーマ] ○植物の生活史や個体群動態 ○熱帯林の動態 ○植物の多様性と系統 ○底生生物の分類と生態 ○軟体動物の生態学	植物生態学特論 水圏生態学特論 行動進化学特論 植物系統学特論 陸域物質循環特論	鈴木 英治 佐藤 正典 富山 清升 宮本 旬子 相場 慎一郎

＊ ＊は平成29年3月退職予定の教員

VI. 平成27年度 入学者選抜に関する入試状況

総 括

専 攻		募集人員	志 願 者	受 験 者	合 格 者	入 学 者
機 械 工 学		50	76	73	59	57
電 気 電 子 工 学		45	71	71	55	54
建 築 学		25	40	38	36	32
化学生命・化学工学	応 用 化 学 ・ 生命工学コース	25	28	28	23	22
	化学工学コース	17	20	20	18	17
海 洋 土 木 工 学		18	15	15	7	5
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学		42	62	61	48	45
数 理 情 報 科 学		14	8	8	8	3
物 理 ・ 宇 宙		15	60	59	26	22
生 命 化 学		18	49	47	26	24
地 球 環 境 科 学		17	19	19	18	15
計		286	448	439	324	296

一般選抜（口述試験）

専 攻		募集人員	志 願 者	受 験 者	合 格 者	入 学 者
機 械 工 学		25	41	41	29	29
電 気 電 子 工 学		23	33	33	23	23
建 築 学		12	14	13	12	10
化学生命・化学工学	応 用 化 学 ・ 生命工学コース	12	16	16	13	12
	化学工学コース	9	9	9	9	8
海 洋 土 木 工 学		9	5	5	1	1
情 報 生 体 シ ス テ ム 工 学		30	46	46	33	33
数 理 情 報 科 学		6	3	3	3	0
物 理 ・ 宇 宙		7	27	27	7	5
生 命 化 学		9	25	25	10	9
地 球 環 境 科 学						
計		142	219	218	140	130

一般選抜（筆答試験）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機械工学		25	34	31	29	27
電気電子工学		22	36	36	31	30
建築学		13	25	24	24	22
化学生命・化学工学	応用化学・生命工学コース	13	12	12	10	10
	化学工学コース	8	9	9	7	7
海洋土木工学		9	7	7	3	1
情報生体システム工学		12	16	15	15	12
数理情報科学		8	3	3	3	1
物理・宇宙		8	23	22	9	8
生命化学		9	20	18	12	11
地球環境科学		17	18	18	17	14
計		144	203	195	160	143

※口述試験不合格者等を含む

社会人特別選抜（1次）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機	械	工学	若干人			
電	気	電子工学	若干人			
建	築	学	若干人			
化学生命・化学工 学	応用化学・ 生命工学コー ス	若干人				
	化学工学コー ス	若干人				
海	洋	土木工学	若干人			
情	報	生体システム工学	若干人			
数	理	情報科学	若干人			
物	理	・宇宙	若干人			
生	命	化学	若干人			
地	球	環境科学	若干人			
計			0			

外国人留学生特別選抜（１次）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機	械	工学	若干人			
電	気	電子工学	若干人			
建	築	学	1	1	0	
化学生命・化学工学	応用化学・ 生命工学コース	若干人				
	化学工学コース	若干人				
海	洋	土木工学	若干人			
情	報	生体システム工学	若干人			
数	理	情報科学	若干人			
物	理	・宇宙	若干人			
生	命	化学	若干人			
地	球	環境科学	若干人			
計			1	1	0	

一般選抜（２次）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機	械	工学				
電	気	電子工学				
建	築	学				
化学生命・化学工学	応用化学・ 生命工学コース	若干人				
	化学工学コース	若干人	2	2	2	2
海	洋	土木工学	15	3	3	3
情	報	生体システム工学				
数	理	情報科学	13	2	2	2
物	理	・宇宙	若干人	10	10	10
生	命	化学	若干人	4	4	4
地	球	環境科学	若干人			
計			21	21	21	20

社会人特別選抜（２次）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機	械工学	若干人				
電	気電子工学	若干人				
建	築学	若干人				
化学生命・化学工学	応用化学・ 生命工学コース	若干人				
	化学工学コース	若干人				
海	洋土木工学	若干人				
情	報生体システム工学	若干人				
数	理情報科学	若干人				
物	理・宇宙	若干人				
生	命化学	若干人				
地	球環境科学	若干人				
計			0			

外国人留学生特別選抜（２次）

専攻		募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
機	械工学	若干人	1	1	1	1
電	気電子工学	若干人	2	2	1	1
建	築学	若干人				
化学生命・化学工学	応用化学・ 生命工学コース	若干人				
	化学工学コース	若干人				
海	洋土木工学	若干人				
情	報生体システム工学	若干人				
数	理情報科学	若干人				
物	理・宇宙	若干人				
生	命化学	若干人				
地	球環境科学	若干人	1	1	1	1
計			4	4	3	3

入学志願関係様式

APPLICATION FOR ADMISSION (MASTER'S COURSE)

一般選抜，社会人特別選抜共通

- 別紙様式 1 入学志願票・受験票・写真票・履歴書
別紙様式 2 入学試験出願資格認定審査調書

一般選抜用

- 別紙様式 3 志望理由書（口述試験）研究計画書（生命化学専攻・口述試験）
別紙様式 4 事前審査申請書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）
別紙様式 5 推薦書（学部3年次生を対象とする選抜の事前審査用）

社会人特別選抜用

- 別紙様式 6 受験承諾書
別紙様式 7 研究（希望）計画書
別紙様式 8－1 業績（業務）報告書No. 1
別紙様式 8－2 業績（業務）報告書No. 2

外国人留学生特別選抜用（FOR INTERNATIONAL STUDENT）

- 別紙様式 9－1 入学志願票・受験票・写真票
(Form 9-1 Identification for Examination and Photograph Sheet.)
別紙様式 9－2 履歴書（学歴）
(Form 9-2 Educational Background)
別紙様式 9－3 履歴書（職歴）
(Form 9-3 Employment Record)
別紙様式 10－1 入学試験出願資格認定審査調書 個人票
(Form 10-1 Summary of academic and professional activities for international students Personal Details)
別紙様式 10－2 入学試験出願資格認定審査調書 学歴
(Form 10-2 Summary of academic and professional activities for international students Educational Background)
別紙様式 10－3 入学試験出願資格認定審査調書 職歴
(Form 10-3 Summary of academic and professional activities for international students Professional Career)
別紙様式 10－4 入学試験出願資格認定審査調書（過去の職歴内容及び社会における活動）
(Form 10-4 Summary of academic and professional activities for international students Past Professional Experience and Activities, if any)

記載された個人情報については、入学者選抜・合格発表・追跡調査及びこれらに付随する事項ならびに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等の事項、授業料の債権管理を行うためのみ利用し、他の目的には使用しません。

The information you enter here will not be used for any purpose other than examination screening, announcement to successful applicants, inquiry tracking and related matters, and administrative matters after admission, such as school register, control of academic records, academic advisory, etc. and tuition fees credit management.

入 学 志 願 票



選 抜 区 分	☐ 一次	☐ 一般選抜（口述試験） ☐ 一般選抜（筆答試験） ☐ 社会人特別選抜	受 験 番 号	
	☐ 二次	☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 (該当する項目に✓点をつけてください。)		
志 望 専 攻	専 攻			
フリガナ氏名 英語氏名	印		性 別	男 ・ 女
生 年 月 日			本籍(外国人の方は国籍)	
学 部 学 籍 番 号	(本学の学生のみ)			
出 身 大 学 等	大学 (該当事項の番号) 学部 1. 卒業 (平成・昭和 年 月 日) 学科 2. 卒業見込 (平成 年 月 日) 3. 3年次在学 (該当事項の番号を○で囲み、必要事項を記入)			
受 験 科 目 (外 国 語)	情報生体システム工学専攻及び数理情報科学専攻の受験者のみ記入してください。 一般選抜試験(筆答試験)当日の英語試験について、どちらかに✓点をつけてください。 ☐ 受験する ☐ 受験しない			
受 験 科 目 (専 門 科 目)	機械工学専攻，建築学専攻，化学生命・化学工学専攻及び生命化学専攻の受験者のみ記入してください。 a. 機械工学専攻を受験する者のみ，選択する2科目に✓点をつけてください。 ☐ 材料力学 ☐ 機械力学 ☐ 工業熱力学 ☐ 流体力学 ☐ 機械材料学 ☐ 制御工学 b. 建築学専攻を受験する者のみ，選択する3科目に✓点をつけてください。 ただし，複数の系から選択し，1つの系からは2科目までとすること。 計画系（ ☐ 建築計画 ☐ 都市計画 ☐ 建築史），環境系（ ☐ 環境工学 ☐ 環境設備）， 構造系（ ☐ 構造力学 ☐ 建築材料 ☐ 鉄筋コンクリート構造 ☐ 鉄骨構造） c. 化学生命・化学工学専攻で受験する者のみ，受験するコースに✓点をつけ更に，応用化学・生命工学コースを受験する者のみ，選択する3科目に✓点をつけてください。 ☐ 応用化学・生命工学コース： ☐ 物理化学 ☐ 分析化学 ☐ 有機化学 ☐ 生物化学 ☐ 高分子化学 ☐ 化学工学コース：移動現象論,化工熱力学,単位操作,反応工学,無機化学及び無機材料化学 d. 生命化学専攻を受験する者のみ，選択する2問に✓点をつけてください。 ☐ 量子化学 ☐ 物理化学 ☐ 有機化学 ☐ 生物化学 ☐ 分子生物学・植物生理学 ☐ 細胞生物学・発生生物学 ☐ 動物生理学			
勤 務 先 等 の 住 所 (社会人特別選抜志願者のみ)	勤務先等名 住 所 〒 電 話 F A X			
現 住 所	〒 住 所 電 話 携帯電話			
上 記 以 外 の 連 絡 先	〒 住 所 氏 名 電 話 携帯電話			

- [記入上の注意]
- 1. 欄は記入しないでください。
 - 2. 記入はペン又はボールペンを用い，楷書で記入してください。
 - 3. 現住所等，変更した場合は速やかに届け出てください。
 - 4. 履歴事項（裏面）はできるだけ詳細に記入してください。



受 験 票

選抜区分	☐ 一次	☐ 一般選抜（口述試験） ☐ 一般選抜（筆答試験） ☐ 社会人特別選抜
	☐ 二次	☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 (該当する項目に✓点をつけてください。)
受験番号		
志望専攻	専攻	
フリガナ氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日	



写 真 票

選抜区分	☐ 一次	☐ 一般選抜（口述試験） ☐ 一般選抜（筆答試験） ☐ 社会人特別選抜
	☐ 二次	☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜 (該当する項目に✓点をつけてください。)
受験番号		
志望専攻	専攻	
フリガナ氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日	
写真貼付欄 (4 cm × 3 cm) 上半身脱帽正面向 3 か月以内に撮影 したもの		

履歴書		
	年 月	事 項
学歴 高等学校卒業から記入してください。 なお，大学等で研究生等とし在学していた場合には，その期間も記入してください。	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
資格	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
賞罰	年 月	
	年 月	

受験 番号	
----------	--

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）
入学試験出願資格認定審査調書

フリガナ氏名		現職		
生年月日（年齢）		電話番号		
志望専攻			希望指導教員	
学歴（高等学校卒業時から記入すること。）				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
職歴				
年 月 日	事 項			
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
研修歴・研究歴等実務経験および国際的活動経験				
年 月 日	事 項			

平成28年度

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程）

志望理由書（口述試験）

研究計画書（生命化学専攻・口述試験）

鹿児島大学大学院理工学研究科

受験番号	*	フリガナ 氏 名		志望専攻	

（注）志望動機を，1000字以内で作成してください。

ただし，生命化学専攻の志願者は、研究計画を1000字以内で作成してください。

別紙様式4

平成 年 月 日

事前審査申請書

鹿児島大学大学院
理工学研究科長 殿

フリガナ
志願者氏名

印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

私は、貴大学大学院理工学研究科博士前期課程（ 専攻）に入学を
志願するにあたり、事前審査を受けたく、所定の書類を添えて申請します。

審査結果通知書送付宛先

〒	-
住 所	
氏 名	

別紙様式 5

推 薦 書

平成 年 月 日

鹿児島大学大学院理工学研究科長 殿

推薦者所属・職名

氏 名

印

[illegible]

- (注) 1. 入学志願者の学力及び適性等について記入してください。
2. この推薦書は、志願者の所属する学部の長、学科長又はそれに準ずる教員が記入し、本研究科長あてに親展文書として厳封し提出してください。

受験番号

社会人特別選抜

受 験 承 諾 書

鹿児島大学大学院理工学研究科（博士前期課程） _____ 専攻志願者

_____ が受験することを承諾します。

平成 年 月 日

（所属・職名）

氏 名 _____ ⑩

（注） 受験承諾書の記入者（推薦者）は、勤務先の所属長又は本人を熟知し職場において指導的立場にある者としてします。

研 究（ 希 望 ） 計 画 書

鹿児島大学大学院理工学研究科

受験番号		フリガナ 氏 名		志 望 専 攻	専 攻
				希望指導教員	

業績（業務）報告書（No.1）

鹿児島大学大学院理工学研究科

受験番号		フリガナ 氏 名		志 望 専 攻	専 攻
				希望指導教員	
論 文 題 目					
職 歴	勤 務 期 間		勤 務 先	主 な 職 務 内 容	
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
	年 月 ~ 年 月				
研究計画に関する過去の職務内容（1000字以内）					

業績（業務）報告書（No.2）

鹿児島大学大学院理工学研究科

受験番号		フリガナ 氏 名		志 望 専 攻	専 攻
				希望指導教員	
学術論文，研究発表・報告，特許等の名称			発行又は発表の 年，巻，号，頁等	発行所，発表雑誌等又は 発 表 学 会 等 の 名 称	備考（共著者名又は 共同発表者名）

（注） 1．年代順に記載のこと。また，学術論文等は，別刷又はコピー（5編以内）を添付してください。

別紙様式 9
Form 9 - 1

2016年度
鹿児島大学大学院理工学研究科
博士前期課程

入 学 志 願 票
(外国人留学生)

APPLICATION FOR ADMISSION
(MASTER’S COURSE 2016)
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY
(FOR INTERNATIONAL STUDENTS)

個 人 票
PERSONAL DETAILS

受験番号
Examinee’s No.
*

1. 日付 : _____
Date Month Day Year

2. 氏名 (Full Name) : _____
Name in native language Family name First name Middle name
Name in Roman capital _____
Family name First name Middle name Signature

3. 生年月日 : _____ 年齢 : _____
Date of birth Month Day Year Age

4. 性別 : 男 女 5. 国籍 : _____
Sex ☐Male ☐Female Nationality

6. 志望専攻 : _____
Preferred Department

7. 出身大学 : _____大学 _____学部 _____学科
University University Faculty Department
attended 卒業・卒業見込み _____
Date of (expected) graduation Month Year

8. 外 国 語 : 英語 日本語 受験しない
Foreign Language ☐English ☐Japanese ☐No language test

9. 受験科目 ((i)機械工学専攻, (ii)建築学専攻, (iii)化学生命・化学工学専攻の受験者のみ記入してください。)
Selected Subjects of examination (For (i) Mechanical Engineering, (ii) Architecture and Architectural Engineering, (iii) Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering)
(i) Mechanical Engineering (Mark ✓ for two subjects)
☐Strength of Materials ☐Dynamics of Machinery ☐Engineering Thermodynamics ☐Fluid Mechanics
☐Materialas in Mechanical Engineering ☐Automatic Control
(ii) Architecture and Architectural Engineering “Select 3 subjects from following course on application (Do NOT Select 3 subjects within the same course):
Design and Planning Course(☐Architectural Design and Planning ☐Urban Design ☐Architectural History)
Built Environment Course(☐Environmental Design ☐Building Equipment)
Structures Course(☐Structural Mechanics ☐Building Materials ☐Reinforced Concrete Structures ☐Steel Structuress)
(iii) Chemistry, Biotechnology, and Chemical Engineering (Mark ✓ for one group)
☐Chemistry, Biotechnology (Mark ✓ for three subjects)
(☐Physical Chemistry ☐Analytical Chemistry ☐Organic Chemistry ☐Polymer Chemistry
☐Biologicai Chemistry)
☐Chemical Engineering (Transport Phenomena, Thermodynamics, Unit Operation, Chemicai Reaction Engineering, Inorganic Chemistry / Inorganic Materials Chemistry)

10. 現職 : 勤務先 _____
Name of company or employer
住 所 _____
Address _____
Phone _____ Facsimile _____

11. 現住所 : _____
Present address _____
Phone _____ Cellular Phone _____

12. 連絡先 : _____
Mailing address (if different from present address)
Phone _____ Cellular Phone _____

Note : *Leave blank

2016年度
鹿児島大学大学院理工学研究科
博士前期課程

受 験 票
(外国人留学生)

Identification for Examination

受験番号
Examinee’s No.
*

志望専攻
Preferred Department

氏名
Full Name

生年月日
Date of birth _____
Month Day Year
性別 男 女
Sex ☐Male ☐Female

Note:
Please bring this card to the examination place.
*Leave blank

2016年度鹿児島大学大学院理工学研究科
博士前期課程

写 真 票
(外国人留学生)

Photograph Sheet

受験番号
Examinee’s No.
*

志望専攻
Preferred Department

氏名
Full Name

Photograph
(4cm×3cm)

Head and shoulders,
frontal pose, taken
within 3 month

Note:*Leave blank

履 歴 書
PERSONAL HISTORY

氏名 (Full Name) :

Name in native language Family name First name Middle name

Name in Roman capital Family name First name Middle name Signature

学 歴
Educational Background

受験番号
Examinee's No.
*

	学校名 Name of school	学校所在地 Location of school	在学期間 Period of attendance		学 位 Degree
初等教育 Elementary education 小学校 Elementary School			from	to	
中等教育 Secondary education 中学校及び 高等学校 Junior and Senior High School					
高等教育 Higher education 大学 Undergraduate level					
大学院 Graduate level					

以上を通算した全学校教育修学年数 _____ 年
Total years of education listed above _____ Years

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。
Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

履 歷 書
PERSONAL HISTORY

職 歴 Employment Record

受験番号

Examinee's No.

*

勤 務 先 名 Name of company or employer	所 在 地 Location	勤 務 期 間 Period of employment		役 職 名 Position	職 務 内 容 Type of work
		from	to		

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES (MASTER'S COURSE 2016) GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

個人票 PERSONAL DETAILS

氏名 (Full Name) :

Name in native language Family name First name Middle name

Name in Roman capital

Family name First name Middle name Signature

生年月日 :

Date of birth Month Day Year

年齢 :

Age

性別 :

男

女

Sex

☐ Male

☐ Female

国籍 :

Nationality

勤務先

Name of company or employer

住所

Address

Phone

Facsimile

現住所 :

Present address

連絡先 :

Mailing address (if different from Present address)

Phone

Cellular Phone

志望専攻 :

Preferred Department

希望指導教員 :

Preferred academic adviser

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES
(MASTER'S COURSE 2016)
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

学歴
Educational Background

受験番号
Examinee's No.
*

	学 校 名 Name of school	学校所在地 Location of school	在 学 期 間 Period of attendance		学 位 Degree
初等教育 Elementary education 小学校 Elementary School			from	to	
中等教育 Secondary education 中学校および 高等学校 Junior and Senior High School					
高等教育 Higher education 大学 Undergraduate level					
大学院 Graduate level					

以上を通算した全学校教育修学年数 年
Total years of education listed above Years

注：上欄に書ききれない場合には、適当な用紙を添付してください。
Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学試験出願資格認定審査調書

SUMMARY OF ACADEMIC AND PROFESSIONAL ACTIVITIES
(MASTER'S COURSE 2016)
GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND ENGINEERING, KAGOSHIMA UNIVERSITY

過去の職歴内容及び社会における活動
Past Professional Experience and Social Activities, if any

受験番号
Examinee's No.
＊

期 間 Period		事 項 Description of activities
from	to	

注：上欄に書ききれない場合には，適当な用紙を添付してください。

Note: If the blank spaces provided above are insufficient, please attach an additional sheet of paper.

入学検定料払込書

郵便局から払込み後
出願書類に添えて提出してください。



通票取票

口座記号番号										金						備考	
0	1	7	0	0	■	3	■	1	2	9	5	3	5	金額			
国立大学法人 鹿児島大学																	
おところ・おなまえ																	
○学部志願者 該当のいづれかに○印を付してください。 ・編入学																	
○大学院志願者 研究科名 _____ 専攻名 _____ 該当のいづれかに○印を付してください。 ・修士課程（博士前期） ・博士課程（博士後期）																	
おところ																	
おなまえ(フリガナ)																	
電話番号																	
日																	
附																	

各票の※印欄は、一依頼人において記載してください。

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 福第11391号)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	017000	3	通称込 料金加入 者負担
加算番号	129535		
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学		
金額	千 百 十 百 十 千 万 千 百 十 円	¥300000	
ご依頼人	おなまえ ※		
料金	様 印		
備考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らなごども丑く裂れこ。

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書(お客さま用)
(ご依頼人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人)

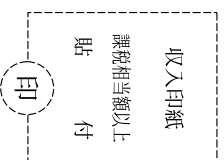
口座 記号番号	01700-3-129535									
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学									
払込金額	億	千	百	十	万	千	百	十	円	
					¥ 3 0 0 0 0					
ご依頼人 住所氏名										
						日 附		印		

(承認番号福証第1039号)

(承認番号福証第1039号)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますの
で、金額を記入する際は、枠内にはつ
きりと記入してください。また、本
票を汚したり、折り曲げたりしな
いでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵
便局の払込機能付きＡＴＭでもご利
用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は
郵便局の渉外員にお預けになるとき
は、引換えに預り証を必ずお受け取
りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきま
した払込書に記載されたおところ、
おなまえ等は、加入者様に通知され
ます。
- ・この受領証は、払込みの証拠とな
るものですから大切に保存してくだ
さい。



1. この振替払込受付証明書（お客さま用）を郵便局の窓口で受け取る際は、受付局日附印を確認してください。
2. この振替払込受付証明書（お客さま用）を願書類に同封して提出してください。

この場所には、何も記載しないでください。